0027437000

0027437-000

DF1－58

金の価値と通貨の価値

深井英五・講述

金融研究会

〔1930〕

ADH

講演集第六輯

日本銀行副總裁　柴井矣五氏講述

金の價値と通貨の價値

財團法人　金融研究會

東京
6.6.10
帝國銀行

金ノ價値ト通貨ノ價値（目次）

考察ノ動機 …… 一
論旨ノ要領 …… 一一
考察ノ目標及ヒ局限 …… 一三
金ノ使用價値ト通貨ノ職能價値 …… 二三
通俗感想ノ批判 …… 三三
問題ノ進展 …… 四四
用語ノ理解 …… 五一
通貨ノ構成ニ於ケル金ノ地位 …… 六〇
通貨關係以外ノ金ノ作用 …… 七五
論旨ノ再述 …… 八四
私ノ願望 …… 九〇

DFI
58

國立國會
54. 3. 20
書籍部

79W11978

金ノ價値ト通貨ノ價値

日本銀行副總裁　深井英五郎氏講演

（昭和五年十一月二日四日　於東京商科大學）

考察ノ動機

一、二年前ニ財團法人金融研究會カラ御依頼カアリマシテ適當ノ題目カアツタ時ニ御相談シヤウトイフ御約束ヲシテ置イタノデ御座イマスカ其ノ因縁ヲ以テマシテ今日皆樣ニ御目ニ掛カルヤウニナリマシタ事ハ私ノ洵ニ欣幸トスル所デ御座イマス。只今ヨリ總イテ頂キマス問題ハ貨幣理論ノ領域ニ屬スルモノデアリマシテ專ロ私カ皆樣學界ノ方カラ教ヲ受ケタイト思フ筋合ヒデアリマス。ソレヲ爲カマシク皆樣ニ向ツテ述立テマス事ハ甚タ恐怖タルノ感ヲ禁シ得ナイノデアリマス。

ソレデ金融研究會ノ方ヘ御相談シマス前ニ豫テ御懇意デアリマス高

頃教授ニ内容ノ大綱ヲ御話シテ御内意ヲ伺ツタノデアリマス。所カ私ノ考察ハ主トシテ通貨政策ノ基礎タルヘキ安當ノ見解ヲ求メルトイフ動機カラ出發シテ貨幣理論ニ觸レテ來タノデアリマシテソノ實際的見地カラ考ヘタトイフ點カ皆樣ノ御參考ニモナルタラウトイフコトヲ承リマシタノテ今日勇ヲ鼓シテ皆樣ノ前ニ立ツコトニナツタノデアリマス

又今月ノ國家學會雜誌ニ同シ表題テ私ノ論文カ出ルコトニナツテ居リマスノソレテ此ノ講演ハ十一月中ニ致シタイ希望テアリマシタケレトモ學校ノ方ノ御都合テ今日ニナリマシタノテアリマス。尤モ國家學會雜誌ニ載ツテ居ル事ヲコヽテラテハ省イタリ、或ハアヽラニ出ナイコトヲコヽテラニ加ヘタリ、又論述ノ順序等モ變更シテアリマスノテ趣旨ハ同一テアリマスケレトモ内容ハ悉ク同一テハナイノテアリマス

私カ金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ニ就テ濃厚ニ興味ヲ持ツヤウニナリマシタノハ明治四十年代カラテアリマス。即チ日露戰爭後我國カ財政經濟上一ノ難局ニ遭遇致シマシテ如何ニシテ兌換制度ヲ維持スヘキヤトイフ事カ當時世間ノ問題トナツタノテアリマスカソレニ關聯シテ通貨膨脹ノ可否カ盛ニ論議セラレタノテアリマス。其ノ頃我國ノ經濟學界及ヒ經濟論策家ノ間テハ單純ナル通貨數量說若クハ所謂預金通貨ヲモ考慮ニ入レタ新通貨數量說ヲ執ル人カ可ナリ多カツタヤウテアリマス。其ノ見地カラ輸出ヲ增進シ輸入ヲ防遏シテ國際收支ノ均衡ヲ回復スルニハ物價ヲ下落セシメナケレハナラヌ、物價ヲ下落セシムルニハ物價騰貴ノ原因テアル通貨ノ膨脹ヲ抑制シナケレハナラヌト斯ウイフ事カ盛ニ唱ヘラレタノテアリマス。然ルニ之ニ對シテ財務當局ノ一部ト商工業者ノ一部テハ產業發達ノ爲ニハ資金ヲ潤富ニシテ金利ヲ低下スル事カ肝要テアル、之カ爲ニ

ハ通貨ノ増發モ必スシモ回避スヘキテナイト斯ウイフコトカ唱ヘラレタノテアリマス。此ノ方ハ産業ノ發達トイフ目的ニ依ツテ通貨ノ膨脹ヲ是認シヤウトシタノテアリマシテ貨幣理論ニハ深ク觸レテハ居ナカツタノテアリマスカ通貨膨脹ヲ否トスル方ニ於キマシテ通貨數量說ニ基ク貨幣理論上ノ議論カ盛テアリマシタカラ之ニ對抗スル必要モアツタト見エマシテ稍々付焼刃ノ様テアリマシタカ通貨ノ價値ハソノ素材タル金ノ價値ニ依ツテ決定セラレルノテアルカラ通貨ノ膨脹ハ物價騰貴ノ原因テハナイト斯ウイフヤウナコトヲ言フ人カアツタノテアリマス。ツマリ所謂金屬說ヲ援用シテ通貨膨脹ヲ辯護シテノテアリマス。金屬說ハ金本位ノ維持ヲ圖シトスルノ見地カラ通貨膨脹ヲ避ケントスル方ニ傾クヘキ筈タトモ考ヘラレマスカ此ノ時ハ目前論證ノ焦點カ物價騰ニ在ツタノテ數量說ヲ排斥スルタメニ金屬說ヲ持出シタノテセウ。成程通貨關係以外ニ金ノ價値カ定マツ

テソレカ通貨ノ價値トナルトイフモノデアリマスナラハ通貨ト物價トノ關係ナトハ通貨政策ニ於テ重キヲ置イテ考慮シナクテモ宜イトイフコトニナリマセウ。併シ果シテサウイフモノデアラウカトイフ事カ私ノ當時起イタ疑問デアリマス。所謂通貨數量説モソノ儘ニハ首肯シ得ナイノデアリマスカ所謂金屬説モ只今申シマシタ論者ノ引用セル樣ナ意味ニ於テハ顧ル變ナモノタト私ハ思ツタノデアリマスソコテ通貨政策ノ參考トシテ所謂金屬説ナルモノヽ正體ヲ突留メテ見タイトイフ考ヲ起シタノデアリマス。

近頃ハ又理論家ノ間テハ所謂貨幣名目説ニ傾イタ見解ヲ採ル人カ段々多クナツタ樣デアリマス。名目説カ必スシモ金本位制ヲ排斥スルモノデナイコトハ歐洲ニ於ケル名目説ノ主唱者ノ一人デアル大家モ認メラレテ居ル樣デアリマスケレトモ世間ニハ金本位制ノ凌落ヲ説クノニ名目説ヲ援用スル人モアリマス。又名目説ノ必然的ノ結果

テアルカ、トウカ、私ニハ能ク分リマセヌケレトモ名目説ト關聯シテ通貨ノ價値ハ金ノ價値ニ依ツテ決定サレルノテハナイ、金ノ價値カ通貨ノ價値ニ依ツテ決定サレルノテアルトイフコトカ唱ヘラレマス。ソレハ頗ル微妙ナ考ヘ方テアリマシテ仔細ニ吟味スルナラハ色々ナ缺陷ト含蓄カアルノテ決シテ單純ナコトテハナイト思ヒマスケレトモ之ヲ粗大ニ攝ンテ金ハ通貨ノ價値又ハ一般物價ニ無關係タトイフ風ニ考ヘテシマウ人カアリマス。サウ致シマスト世界戰爭後金本位制ノ回復ニ依ツテ物價カ下落シタトカ今後世界ノ產金額カ不足スルカラ物價ハ尙ホ下落スルテアラウトカ、或ハ金ノ使用ヲ調節シテ物價ノ安定ヲ計ルトカ、此ノ頃國際聯盟ノ財務委員會テ調査研究シテ居ル樣ナコトハ全ク無意味トナツテシマウノテアリマスカ果シテサウテアラウカ。是カマタ私ノ疑問テアリマス。金本位ハ理想的ノ貨幣制度テモナイコトヲ私ハ認メマスケ

レトモ目下之レニ代ッテ實行サレ得ヘキ制度カ未タ發見サレマセヌカラ實際上比較的優良ノ制度トシテ之レヲ維持スヘキト同時ニ金本位制ノ下ニ於テ金カ通貨ノ價値又ハ一般物價ニ如何ナル關係ヲ有スルカヲ正確ニ突留メテ通貨政策ノ基礎ニシナケレハナラヌト思フノテアリマス。

私ノ考察ハ今申シマシタ樣ナ實際的動機カラ出發スルノテアリマスカ金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ニ就キマシテハ問題ノ性質上實證的ニ檢討シ得ヘキ處ハ甚タ少ナイノテアリマス。金本位制ノ下ニ於キマシテハ通貨ノ價値ト金ノ價値トハソノ決定ノ原因カ何方ノ側カラ起リマシテモ端的ニ混和シテ一樣ノ價値トナッテシマウノテアリマス。又金ト通貨トハ二ッノ側ニハッキリト分ケル事ハ出來マセヌ。金ノ一部ハ地金トシテ存在シ一部ハ通貨ヲ構成シテ居リマス。通貨ノ一部ハ金ヲ以テ構成サレテ居リマスカ他ノ部分ハ別ノ基礎ノ

上ニ構成サレテ居リマス。卽チ二ツノモノカ一部ハ別々ニ分レテ居リ一部ハ重リ合ソテ混和シテ居ル。斯ウイフ事態テアリマス。ソウシテソレ等ノ總テノモノカ一樣ノ價値ヲ持ツノテアリマスカラ實證的ニソノ決定ノ徑路ヲ認識スルコトハ頗ル困難テアリマス。ソレテ餘儀ナク私ノ如キモノモ主トシテ理論的研究ニ依ラナケレハナラナイトイフコトニナルノテアリマス併シナカラ私ノ考察ハ只今申シマシタ樣ナ動機カラ出ルノテアリマスカラ面白イ概念ヲ構成シテ見ヤウトカ又ハ法則トテモ請フヘキヤウナ明快ナ考ノ方式ヲ立テルトカイフ事ハ私ノ企圖スル所テナイノテアリマス。私モサウイフ風ナ思想ノ構造ニ興味ヲ持ツテ居リマシテ之ヲ參考トシテ實際上ニ從ヲ受ケルコトカ多イノテアリマスケレトモ複雜ナル經濟活動ヲ對象トシテ概念ヲ作ツタリ、方式ヲ立テヤウトシマスレハ用語ノ意義ヲ其ノ構想ニ適合スルヤウニ限定シタリ又事實ノ或ル方面ヲ抽象スルトイ

フヤウナコトカ必要ニナリマス。ソレハ學問ノ方法トシテハ已ムヲ得ナイノデアリマセウ、或ハ當然デアルカモ知レマセヌカ私ハ實際的ノ見地カラ假令立派ニ纏ツタ見解ヲ立テルコトカ出來ナクテモ事ロ抽象ニ陷ラスシテ具體的ニ事實ノ總テノ方面ヲ遺漏ナク取入レテ夫々ノ傾向ヲ出來ルタケ論理的ニ檢討シテソレヲ政策ノ基礎トスルコトヲ希ツテ居ルノデアリマス。私カ今カラ述ヘマスコトハ實證的テハアリマセヌカ實際的動機カラ出發スルモノデアルトイフノヲ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス。

又私ハ通貨數量說トカ金屬說トカイフ學說ノ名前ヲ只今擧ケマシタケレトモ實ハソレ等ノ學說ニ對スル內容ノ理解ハ人ニ依ツテ隨分色々ニ異ツテ居ルノデアリマシテソノ正体カ何カトイフコトハ簡單ニハ突留メラレナイノデアリマス。隨テ私カ何說ニ贊成スルトカ何說ニ反對スルトカイフコトハ俄カニ明言スルコトハ出來

マセヌ。學說ノ看板テ爭フシマスコトハ餘程危險テ無用ナ誤解ヤ紛
議カ起ルノテアリマスカラ看板ノ爭ヒハ私ハシタクナイノテアリマ
ス。是カラ述ヘマス私ノ見解ハ內外ノ學者ノ教ニ負フ所カ少クナイ
ノテアリマスケレトモソレハ自分ノ思想ノ發生フ刺戟サレ若クハ自
分ノ思想ヲ矯正スルノ助ケトナツタトイフニ止マリマス。ソレ等ノ
先輩ノ研究及思想カ私ニ與ヘタ所ノ影響タケカ私ニハ殘ツ　居ルノ
テアリマス。ソレカ知ラス識ラス累積シテ私ノ見解ヲ成シタノテア
リマシテ何人ノトウイフ說ニ自分ノ見解カ合致スルトカトウイフ風
ニ遽フトカイフ事ハ餘リ氣ニ掛ケナイ必スシモ明白ナ記憶モ殘ツテ
ハ居ナイノテアリマス。ソレテアリマスカラ私ノ申上ケルコトカ何
說フ支持スルノテアラウトカ何說ニ反對スルノテアラウトカソウイ
フ豫斷フシテ學說對抗ノ氣分フ起スコトナク冷ヤカニ私ノ見解ノ實
質ソノモノニ就テ御判斷アランコトヲ希望スルノテアリマス

講演ノ要領

講旨ノ要領

今回ノ講演ノ趣旨ハ昨年出版致シマシタ私ノツマラナイ著述デアリマスカ「通貨調節論」トイフノカアリマシテ其ノ中ニ同シク「金ノ価値ト通貨ノ価値」トイフ小題ヲ掲ケテソコニ三頁程ニ短ク取扱ッタノデアリマス。然ルニ之ニ就テ意外ノ誤解モ起ッテ居ルトイフ事ヲ發見致シマシタノデ是等ノ批評及ヒ質問ニ對シテ敎明ヲ試ミルト同時ニ自分デモ一層細カニ考ヘテ見マシテサウシテ此處ニ幾イナ頂クヤウナ比較的長イモノニナッタノデアリマス。是カラ段々論述ヲ進メテ參リマス前ニ先ッ講旨ノ要領ヲ擧ケテ置クノカ便宜デアラウカト思ヒマス。

私ハ金ノ價値カ專ラ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフ事ヲ首肯シナイノデアリマス。通貨ノ職能的作用カ通貨ノ價値ヲ決定スル重要ノ原因タト考ヘテ居リマス。然シナカラ金本位制ノ下ニ於テハ金ノ側ニ

於ケル事情モ亦通貨ノ價値ノ決定ニ關係カアリマスカラ通貨ノ價値カ專ラ金ノ價値ヲ決定スルトイフコトモ亦首肯シ得ナイノテアリマス。通貨ノ側ノ事情ト金ノ側ノ事情トノ働キヲ同等タト私ハ言フノテハアリマセヌ。唯双方ニ原因カ在ルトイフ事ヲ認メルノテアリマス隨テ何レカノ一方カ他方ヲ決定スルトイフヨリモ兩者カ一括シテ定マルトイフノカ妥當テアラウト考ヘルノテアリマス。サウシテ兩者ノ價値ハ端的ニ混和シテ共通ナル同一ノ價値ヲ持ツコトトナルノテアリマスカラ卽チ金ノ價値モ通貨ノ價値モ同シニナルノテアリマスカラソノ端的ニ混和スル作用ヲ指シテ同時ニ定マルトイヒタイノテアリマス。ソレカラ混和シテ一ツニ歸スル所ノ結果ヲ指シテ一樣ニ定マルトイヒタイノテアリマス。

然ルニ之ニ對シテ二ツノ異ツタ方面カラ批評カ起ソテ居リマス。一ハ金カ通貨ノ素材タル場合ニハ通貨ノ價値ハ金ニ依ツテ決マル樣

ニ思ハレル、サウテナイトイフノハトウモ不思議タト云ハレルノテアリマス。是ハ寧ロ通俗的ノ感想カラ起ル所ノ批評若クハ疑問デアリマス。今一ツハ理論的ノ方面カラノ批評テアリマシテ金ノ價値ハ通貨ノ價値ニ依ツテ決定サレルノタ即チ通貨ノ方カ金ノ價値ヲ決定スルノタ、兩者ノ價値カ一括シテ定マルトイフノハ首肯シ得ナイト云ハレルノテアリマス。是カラノ論述ハ此ノ異リタル二ツノ方向ニ於ケル批許ヲ眼中ニ置キマシテサウシテ私カ只今述ヘマシタ論旨ノ要領ヲ得ルニ至ツタ考察ノ道行キヲ御話スルノテアリマス。

考察ノ目標及ヒ局限

前置カ長クナツテ甚タ恐縮テアリマスカ此ノ問題ノ性質、論點ニ就イテ世間ニハ往々誤解カアリマスカラ先ツ順序トシテ私ノ考察ノ目標及ヒ局限ヲ明カニシテ置キタイノテアリマス。

金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係カ殊更ニ問題トナリマスノハ金本位制ノ存在ヲ前提トシタ上ノコトテアリマス。若シ金本位制カ有效ニ施行サレテ居リマセヌナラハ勿論地金ノ價値ト通貨ノ價値トハ別々ニ定マルヘキ筈テアリマス。一樣ニナラナイノカ當リ前テアリマス。例ヘハ大正六年カラ昭和四年マテ我國ノ金本位制ハ金輸出制限及金貨鑄潰禁止ノ法令ニ依ツテ有效ナル施行ヲ妨ケラレテ居タノテアリマス。其ノ間地金ノ價値ト我國ノ通貨ノ價値トハ一致シナカツタノテアリマス。此ノ時期ニ於ケル地金相場ノ動キハ面白イ研究ノ題目テアリマシテ「通貨調節論」ニ於イテハソレモ考察シテ居リマスケレトモソレハ私カ今囘論述スル所ノ問題トハ別テアリマス。ソレヲ世間テハ往々混合スルカ故ニ特ニ說明ヲ必要トスルノテアリマス。金本位制カ有效ニ施行サレテ居ナイ爲メニ地金ノ價値ト通貨ノ價値トカ區々ニナル。其ノ場合ニ於キマシテ金ノ價値カ通貨ノ價値

ヲ決定スルノテモナク又通貨ノ價値カ地金ノ價値ヲ決定スルノテモナイコトハ餘リニ明白テ議論ノ餘地カナイト私ハ考ヘルノテアリマス。金貨鑄造禁止ノ結果トシテ地金相場ハ造幣價格以上ニ騰貴致シマシタ。造幣價格ハ一匁五圓テアルノニ或ル時ハ七圓五拾錢位マテ騰貴シタコトカアリマス。ソレヲ見テ金廢說ノ論據カ敗レタカノ樣ニイフ人カアリマスカ私ニハトウモソレカ理解出來ナイノテアリマス。何故ニ金廢說ノ論據カ敗レタトイフノタラウカト想像シテ見マスト地金ノ相場ハ騰貴シタカ一般物價ハ之ニ應シテ下落シナイ、卽チ通貨ノ價値ハ騰貴シナイ、ソレ故ニ通貨ノ價値ハ金ノ價値ニ依ルモノテナイトイフ事カ證明サレタト斯ウイフ風ニテモ考ヘラレルノカトモ思ヒマス。然シナカラ金輸出制限及金貨鑄潰禁止ニ依リマシテ我國ノ通貨ト金トノ結付ハ完全テナクナツタノテアリマスカラ既ニ金トノ結付ノ完全テナイ通貨ノ價値ト商品トンテノ地金ノ價値ト

カ一致シナイノハ當リ前テアリマス。何ノ不思議モナイノテアリマス。或ハ又一匁ニ相當スル金貨ハ五圓ニシカ通用シナイノニ地金一匁ハ七圓五拾錢ニモ賣レタコトカアル。同シ金テモ金貨タルト地金タルトニヨッテ價値カ違ッタ。ソレタカラ地金ノ價値カ通貨タル金貨ノ價値ヲ決定スルノテナイトイフ證明カ出來タト、斯フイフ風ニ考ヘラレルノカモ知レマセヌ。併シナカラサウ致シマスト通貨タル金貨ノ價値モ亦地金ノ價値ヲ決定スルノテハナイトイフ事ニナリマシテ、ツマリ通貨ト金トノ結付カ完全テナイトイフ事實ヲ言ヒ表ハスタケニ止マリマス。何レノ學說ヲ證明スルコトニモナラス、排斥スルコトニモナラナイヤウテアリマス。同シ金テアリナカラ金貨タルト地金タルトニヨッテ價値カ違ッタノハ如何ニモ不思議ノヤウテアリマスカ地金ハ金貨ニ鑄造シテ通貨トシテ使用スルコトモ出來レハ工藝ニ使用スルコトモ出來ル。然ルニ金貨ハ鑄潰禁止ノ法令カア

ルノナ通貨トシテ使用シ得ル丈ケヲ工夫ニ使用スルコトカ出來ス。
物理的ニハ同シ金テアルケレトモ法令ノ結果金貨ノ效用ハ人爲的ニ
狹メラレテシマツタノテアリマスカラ效用ノ旺イ地金ニ比シテ價値
カ少ナカツタノハ當然テアリマス。兎ニ角金輸出制限及金貨鑄潰禁
止ノ結果トシテ通貨ノ價値ト地金ノ價値トカ一致シナカツタト云フ
事實ハ金屬說ノ論據ニモ名目說ノ論據ニモ殆ト淺交渉テアルト私ハ
思フノテアリマス。私カ金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ヲ問題トス
ルノハサウイフ風ニ通貨ト金トノ結付カ不完全テアル場合テナク金
本位制ノ下ニ於ケル事態トシテ之ヲ考察ノ對象トスルノテアリマス
金本位制トハトウイフモノカトイヘハ色々ノ定義ノ仕方モアラウ
ト思ヒマスカ私カ其ノ特徵トシテ重キヲ置ク所ノモノハ、通貨ノ單
位カ金ノ一定量ニ結付ケラレ其ノ比率ニ依ツテ金ト通貨トカ自由ニ
交換サレテ金貨及地金ノ使用方ニ就イテ法規上何等ノ制限モナク從

ツテ金ノ価値ト通貨ノ価値トカ一致スルトイフ事テアリマス。一致スルト申シマシテモ地金商ナトカ取リマス値カノ手数料ハ除外致シマスノテソレ等ヲ除外スルト通貨ノ価値ト金ノ価値トカ一致シマスソウイフ場合ニ於テ其ノ一致セル通貨ノ価値及ヒ金ノ価値ノ決定ニ金カ如何ナル関係ヲ有ツカトイフノカ私ノ考察ノ対象テアリマス。此ノ目標ヲ以テ考察ヲ進メルノタトイフ事ヲ先以テ御諒解ヲ願ヒタイノテアリマス。

次ニ私ノ考察ノ範圍ノ局限ニ就イテ御諒解ヲ願ツテ置ク必要カアルト思ヒマス。金ノ価値ト通貨ノ価値トノ關係ハ綜合的、一般的ニ通貨ノ価値ハ如何ニシテ決定サレルカトイフ問題ノ一部テナケレハナラヌノテアリマス。金ノ価値ト通貨ノ価値トノ關係ヲトウニカ考ヘテ定メマシテモソレタケテハ通貨ノ価値ノ綜合的解説トハナリマセヌ。通貨ノ価値ハ其ノ素材テアル金ノ価値ニ依ツテ決定サレ

ルノテハナイト致シマシテ所謂金屬說ヲ排斥シマシテモ、ソレテハ否定ノ方面カ決ツタ丈ケテ否定サレタ見解ノ代リニ如何ナル見解ヲ肯定スヘキカト云フ問題ハ依然トシテ殘ルノテアリマス。ソレカラ通貨ノ單位ハ法制ニ依リ又ハ歷史的ノ事情ニ依ツテ成立スル價値計算上ノ名目タト致シマシテモ其ノ名目單位ノ通貨カ一般財貨ト交換サレル比率即チ通貨ノ價値ハ如何ニシテ決定サレルカト云フ問題ハ殘ツテ居ルノテアリマス。通貨ノ價値カ歷史的ニ成立スルトイフ事ヲ以テソノ說明トサレル方モアル樣テアリマス。ソレハ通貨ノ價値ノ決定カ現在喞的ノ事情ノミニ依ラナイテ歷史的ノ經過ノ影響ヲモ受ケルトイフ意味ニ於テハ何人モ異議ハナカラウト思ヒマス。併シナカラソレタケテハ通貨ノ價値ノ成立スル徑路ヲ說明シタタケテアリマシテ其ノ原因ノ說明テハナイヤウテアリマス。單ニ問題ヲ一歩先キヘ送ツタタケテアリマス換言スレハ問題ヲ囘避シタモノテアリ

マス。若シ歴史的ニ成立スルトイフ事丈ケテ満足シ得ルナラハ、ソレハ歴史的經過ナルモノハ偶發事件ノ累積ニ過キナイトイフコトヲ認メルノデハナイカト思ヒマス。若シサウデアリマスナラハ即チ歴史的經過ハ偶發事件ノ累積ニ過ナイト致シマスナラハ理論的考察ヲナスヘキ根據ハナクナッテシマヒマス。理論的考察ハ全ク放棄シテシマハナケレハナラナイカニナルテアリマセウ。苟モ理論的考察ヲ試ミルト云フ以上ハ歴史的經過ノ内ニモ合理的傾向ノ存在スルコトヲ前提トシナケレハナリマセヌ。歴史的經過ト現在ノ事情トノ兩者ニ渉ッテ合理的傾向ヲ發見スヘク試ミルノカ理論的考察テアリマス通貨ノ價値ノ決定サレル原因カ如何ニ在ルカト云フノハ即チソノ合理的傾向ヲ尋ネルノテアリマス。金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ハ其ノ合理的傾向ノ一方面トシテ研究ノ對象トナルノテアリマス。其ノ關係ヲ認識シ得ルナラハ通貨價値ノ問題ノ全部ヲ解說スルニハ至

テナクトモ一部ノ解説トシテ貢獻スル所カアルタラウト信スルノデアリマス。今回ノ論述ハ主トシテ其ノ一部ノ解說ニ局限サレルノデアリマスカ多少一般問題ニモ關レルノハ自然ノ勢テアリマス

只今ハ通貨ノ價値ト金ノ價値トノ關係カ通貨ノ價値一般ノ問題ノ一部テアルト云フ事ヲ申シタノテアリマスカ更ラニ思索ノ順序ヲ變ヘテ見マスト通貨ノ價値ノ決定サレル原因ヲ如何ニ認識スルカトイフ事ニヨツテ金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ニ對スル見解カ影響ヲ受ケテ來ルカモ知レナイノテアリマス。ソレテ通貨ノ價値ハ如何ニシテ決定サレルカトイフ廣イ綜合的ノ根本問題ニマテ踏入リマシテソレヲ解決シナケレハ論旨ハ不徹底ヲ免レナイ。ソノ問題ニ解決ヲ與ヘ得スシテ金ノ價値ト通貨ノ價値タケヲ考ヘルトイフコトハ聊カ無理テアリマス。私モ「通貨調節論」ノ中テ此ノ根本問題ニ對シテ種々ノ考ヘ方ヲ商量致シマシテ結局通貨及ヒ其ノ代用物ト經濟活動

トノ對立關係ニ重キヲ置キ少クトモ通貨政策ノ基礎トシテ據ルヘキ所ノ理義ト傾向トヲ指示シタ積リテアリマス。併シハツキリシタ方式的ノ結論ハマタ出シ得ナイノデアリマス。尙ホソノ考察ヲ推進メタイト常ニ考ヘテ居ルノデアリマスケレトモ急イテ強ヒテ一定ノ方式ニ決マツタ樣ナ考ヘ方ヲ定メヤウトシマスレハソレニ對シテハ諸方カラ色々ノ議論カ起リマシテ直クニハ落着シ難イ論爭ヲ起ス事ニナルテアリマセウカラ只今通貨ノ價値ト金ノ價値トノ問題ヲ考ヘマスニ當ツテハ不徹底テアリマスケレトモ其ノ根本問題ハ姑ク措キ問題ノ範圍ヲ局限致シマシテ出來ルタケ正確ニ金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ヲ把握シテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス

唯此ノ根本問題ノ一部ト致シマシテ私ハ通貨ノ數量カ通貨ノ價値ヲ決定スル原因ノ一ツテアルト云フ事ヲ信シマス。私ハ今通貨數量說ニ對スル自分ノ立場ヲ決メルノテハアリマセヌケレトモ通貨數量

説ニ賛成シナイ人テモ通貨ノ數量カ通貨ノ價値ノ決定ニ關係ノアルトイフ事ハ否定シナイタラウト思ヒマス。通貨ノ價値ハ必シモ其ノ數量ノ增減ニ比例シナイ。又通貨ノ數量ノ變化ノ影響カ他ノ原因ニ依ツテ相殺中和サレルトイフコトハ無論アリマス。隨テ通貨ノ數量ノ增減ニ原因スル所ノ通貨ノ價値變動ノ傾向ハ必スシモ其ノ儘ニハ實現シナイノテアリマスケレトモ數量ノ增減カ價値變動ノ一原因テアルトイフコトハ何人ニモ認メラレルテアラウト思ヒマス。是タケハ金ノ價値ト通貨ノ價値トノ關係ヲ論究スル前提トナシ得ルテアラウト思フノテアリマシテ之ヲ先ツ掲ケテ御記憶ニ留メテ戴キタイノテアリマス。

金ノ使用價値ト通貨ノ職能價値

是レカラ愈々本論ニ入リマス

金カ通貨トシテ用ヒラレナカツタ時ニ於キマシテハ金モ亦單ナル普通ノ財貨テアリマス。卽チ人間ノ生活又ハ趣味ノ滿足ニ直接ノ效用カアリ、其ノ數量ニ限リカアリ、之ヲ獲得スルニハ勞力ヲ要スルカ故ニ價値ヲ有ツ所ノ普通ノ財貨テアリマス。ソレカ最初ニ通貨トシテ用ヒラレルコトニナリマシタノハ普通ノ財貨トシテ卽チ裝飾等ノ效用ニ依ツテ他ノ財貨ト交換セラルヘキ價値ヲ持ツテ居ツタカラテアリマセウ。サウ致シマスナラハ普通ノ財貨トシテ存在シタ金ノ使用價値カ通貨ノ價値トナツタト謂ヒ得ルト思ヒマス。卽チ物々交換ニ於ケル金ノ交換力カ通貨ノ購買力トナツタノテアリマスカラ金カ通貨トシテ用ヒラレルニ至ツタ發端ノ事態ヲ解說シテ通貨ノ價値ハ金ノ價値ニ依存スルトカ、金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ決定スルトカイフコトニ對シテハ異議ヲ挿ムヘキ理由カナイト思ヒマス。

金ヲ通貨トシテ用フル習慣又ハ法制カ成立シマシタ後モ金ノ貴

ノハ普通ノ財貨トシテノ效用ニ依ルトイフ觀念カ尚ホ强ク働イテ居ツテ其ノ觀念ニ基イテ通貨タル金カ授受セラレタトイフ時期モアツタカト想像シ得ルノデアリマス。其ノ間ハ矢張通貨ノ價値ハ金ノ價値ニ依ツテ決定サレルト云ツテモ差支ハアリマスマイ。併シナカラ金ヲ通貨トシテ用フル習慣又ハ法制カ成立シマシタ後ハ金ニハ普通ノ財貨トシテノ效用以外ニ通貨ノ職能デアル所ノ交換ノ媒介トイフヤウナ特殊ノ效用カ發生スルノデアリマス。卽チ通貨タル金ヲ受取ル者ハ生活上、社交上又ハ趣味ノ爲ニ直接ニ其ノ物件ヲ使用シ得ルカ故ニ受取ルノデハアリマセヌ。更ニ之ヲ他ノ物件ト自由ニ交換シ得ルカ故ニ受取ルノデアリマス。通貨ニ依ル取引カ段々盛ニナツテ參リマスト普通ノ財貨トシテノ金ノ效用ハ全ク閑却サレルトイフマデニハ至リマセヌケレトモ段々其ノ觀念カ薄クナツテ專ロ通貨トシテノ特殊效用ノ方カ重要ナルモノトナツテ參リマス。

即チ金ノ貴イノハ主トシテ通貨ノ素材タリ得ルカ故テアルトイフ觀念カ出テ來ルト認ムヘキテアリマス。斯ウイフ所マテ參リマスレハ通貨關係以外ニ成立スル地金ノ價値カ通貨ノ價値トナルノテナイコトハ明白テアリマス。同シク金テアリマスケレトモ通貨タル金ノ價値ハ主トシテ通貨ノ職能的作用ニ起因致シマシテ經濟活動ノ全般殊ニ其ノ經濟活動ノ代表トモ謂フヘキ一般財貨ニ對スル關係トシテ定マルト見ルヘキテアラウト思ヒマス。之ヲ通貨ノ職能價値ト申シテモ宜シイテアリマセウ。

通貨タル金ト通貨關係以外ノ金トノ間ニ自由ノ相互變通カ出來ルヤウニナツテ居リマスレハ兩者ノ價値即チ通貨タル金モ通貨關係以外ノ金モ其ノ價値ハ匿々トナラナイテ唯一ノ共通ナル金ノ價値カ出來ルニ過ヒアリマセヌケレトモ其ノ價値ノ決定サレル原因及ヒ經路ハ金カ通貨テナイ場合ニ普通ノ財貨トシテ其ノ價値ノ決定サレル原因

及ヒ經路トハ大變ニ趣ヲ異ニスルコトニナルノデアリマス。此處デ少シ實證的ラシイコトニナリマスカ金ヲ通貨トシテ居ル社會ニ於テ其ノ制度カ廢止サレマスナラハ金ノ價値カ直ニ變動スルデアラウトイフコトハ道理ニ於テ見易イモノデアリマス。獨逸カ一八七〇年代ニ、又英領印度カ一八九〇年代ニ、或ハ佛蘭印度カ近頃、何レモ銀貨制度ヲ廢止シタコトニヨリマシテ銀ノ價値カ著シク下落シタトイフ實驗ハ金ト銀トノ差ハアリマスケレトモ今申シマシタ道理ヲ裏書スルモノデアルト思フノデアリマス。サウデアリマスカラ金カ通貨タル場合ニ於ケル通貨ノ價値ハ普通ノ財貨、シテノ金ノ價値ニ依ツテ決定サレルノデハナクシテ金カ通貨デアルトイフ特殊ノ事情即チ通貨ノ職能的作用カ其ノ決定ニ重キヲナスト謂フヘキデアラウト考ヘマス。此處ニ至ツテ尚ホ金カ通貨トシテ用ヒラレタ發端ニ於ケル如キ意味ヲ以テ金ノ價値ヲ決定スルトイフノハ明白

ニ妥當テナイト思ヒマス。唯金ノ外ニ通貨タルモノカアリマセヌケレハ通貨ト金トハ實際同種物件デアリマスカラ通貨ノ價値ハ通貨ノ職能的作用ニ依ツテ定マルト申シマシテモ、素材タル金ノ價値カ通貨ノ價値トナルト申シマシテモ單ニ觀念ノ相違カアルタケテ通貨政策ノ如キ實際問題ニハ格別影響ハシナイタラウト思ヒマス。ソレハ只今申シマシタ如ク金ノ外ニ通貨タルモノカナイ場合テアリマス。

併シナカラ實際社會ニ於キマシテハ通貨カ金ノミヲ以テ構成サレル場合ハ少ナイノテアリマス。通貨制度カ段々復雜ニナツテ流通スル金貨ノ外ニ金準備ニ依ル兌換券カ發行セラレ更ニ金準備額ヲ超過スル所ノ兌換券カ保證ノ方法ニ依ツテ發行セラレル。サウイフ實情ニナツテ來マスレハ金本位制ノ下ニ於テモ通貨ト金トハ全然同種物件タトイフ事ハ出來ナイノテアリマス。金ハ自由ニ通貨ニ變形セラレ通貨ハ自由ニ金ニ兌換セラレマスケレトモ通貨ノ全部カ金ヲ以テ

構成セラレテ居ルノデハアリマセヌ。流通スル金貨ト金準備ニ依テ發行サレル兌換券ト保證ニ依テ發行サレル兌　換　券トカ通貨トシテ併存シ得ルノデアリマス。最近ノ實情ニ於キマシテハ世界中金貨ノ流通ハ極メテ少クナリマシタケレトモ世界大戰爭マデハ多クノ國ニ於テ金貨ノ流通カアリマシタ。我國ニ於テハ明治以來金貨ノ流通モ極メテ少ナイノデアリマスケレトモ現在ノ法制ニハ金貨ノ流通モアリ得ルノデアリマスカラ矢張金貨ノ流通トイフコトヲ考察ノ對象ノ中ニ入レテ置クノデアリマス。ソレテ流通スル金貨モ金準備ニ依テ發行サレル兌換券モ保證ノ方法ニ依ッテ發行サレル兌換券モ三者共ニソノ作用ハ同一デアリマス。其ノ價値モ同一デアリマス。併シナカラ金貨ト兌換券トハ同種物件デハアリマセヌ。又金準備發行ノ兌換券ト保證發行ノ兌換券トハ既ニ發行サレタ上ハ區別ノナイ同種物件トナリマスケレトモソレカ通貨トシテ成立スル所ノ基礎ハ違ッ

テ居ルノテアリマス。發行サレテ居ル兌換券ノ中ノ金準備相當額ハ金ト同視シテモ宜シイ。併シナカラ保證相當額ハ其ノ作用カ金ト同シテアルトイフタケテ實質的ニ金ト同視スルコトハ出來ナイノテアリマス。今申シマシタノハ所謂無制限通貨テアリマスカ其ノ外ニ補助貨トイフモノカアリマシテ或ル制限ノ下ニ通貨ノ作用ヲナシマス尚ホ其ノ外ニ銀行ノ信用取引カ通貨ノ代用ヲナシ得ルノテアリマス或ル人ハ銀行預金ニ對シテ振出サレル小切手ヲ通貨ノ一種テアルトサヘ申スノテアリマス。補助貨及ヒ小切手ハ先ツ通貨ニ交換サレ更ニ金ニ交換サレル可能性カアリマスケレトモ是亦實質的ニハ金ト同視スル事ハ出來マセヌ。

サウイフ風ニ制度及ヒ習慣カ複雜ニナツテ參リマシテ只今申シマシタ種々ナルモノヽ總和（是等ノモノヲ合セタ全體）カ經濟活動ニ對シテ働掛ケル作用、故ニソレ等カ經濟活動カラ受ケル影響ノ綜合

ニ依ツテ通貨ノ價値即チ通貨ノ一般購買力カ決定サレルト私ハ斯ウ見ルノデアリマス。此ノ綜合的作用カ通貨ノ職能的作用トイフモノニ大體該當スルノデアリマス。唯通貨及ヒ其ノ代用物ノ中ニハ通貨ノ一部ヲ構成スル所ノ金ヲ含ンデ居リマス。經濟活動トイフ中ニハ地金ノ取引モ含ンデ居リマス。置テソノ事實カラ生スル影響ヲ金ノ側ニ於ケル事情トシテ特別ニ考慮スヘキヤ否ヤトイフ問題カ生シマス。是カ今回私カ試ミツツアル考察ノ必要ヲ生スル所以デアリマスソレハ暫ク後段ニ讓ルト致シマシテ今ハ只金ヲ含ム通貨及ヒ其ノ代用物ノ總和ト地金取引ヲ含ム經濟活動ノ全體トノ綜合的關係ニ依ツテ通貨ノ價値カ決定サレルトイフコトヲ私ノ見解トシテ提供シテ置クノデアリマス。

併シソレタケデハ甚タ茫漠タルモノデ價値ノ少ナイ見解デアリマス。其ノ綜合的關係ヲ如何ニ解釋スルカ、其ノ綜合的結果ヲ生スル

諸原因ノ相互作用ヲ如何ニ認識スルカトイフコトニ依ツテ通貨ノ價値決定ニ關スル根本的見解カ更ニ分レナケレハナラスノテアリマスソレハ姑ク措キマシテ只今申シマシタ通貨ト經濟活動トノ相互關係ニ重キヲ置クヘキタトイフコトタケハ大概異議ナク承認サレルタラウカト思ヒマス。サウ致シマストー通貨ノ價値カ事ラ金ノ價値ニ依ツテ決定サレルトイフコトハ出來ナクナルノテアリマス。只之ニ對シテ極短ナル金屬說ノ主張者タケハ私ノ只今申シマシタヤウナコトヲ首肯シナイモ知レマセヌ。併シ金屬說ト雖モ金カ通貨ノ素材トナツタ後ニ於テ其ノ價値カ地金ノ使用價値ニ依ツテ決定サレルト、マサカサウイフコトヲ申スノテハアルマイト思ヒマス。少クトモ通貨ノ素材トシテノ必要カ其ノ價値決定ノ一原因テアルコトヲ認メルノカ穩當ナル金屬說ノ立場テアラウト思ヒマス。若シサウテナク飽マテ地金トシテノ使用價値ヲ以テ金ノ價値及ヒ通貨ノ價値ノ基礎トスル

極端ナ主張カアリマスレハソレハ金カ通貨トシテ用ヒラレタ發端ノ事情ニ固着シテ其ノ後ノ推移ニ適合シナイモノタトイフコトヲ私ノ側ニ於テ主張スルノテアリマス。金カ通貨トシテノ職能ヲ帶ヒタ後ニ於テ尙ホ金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフノハ觀念トシテ妥當テナイトイフコトヲ前ニモ申シマシタカ更ニ通貨制度カ復雜トナツテ金ハ通貨ノ一部タルニ過ナイ、通貨ノ代用タル信用取引ヲモ合セテ見レハ金ハ寧ロ一小部分タルニ過ナイノニ尙ホ金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ決定スルトイヒマスノハ單ニ觀念トシテ妥當テナイノミナラス事實ニ違ヒマシテ通貨政策ノ基礎トシテ容認シ難イト謂ハナケレハナラヌト思フノテアリマス。

通俗感想ノ批判

是テ大概金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフ考ニ對スル論旨

ハ並キタト申シテモ宜シイト思ヒマスカ尚ホ通俗ノ感想ニ訴シテ少シク批判フシテ見タイト思ヒマス。

所謂金属説ハ近頃ハ貨幣理論家ノ間テハ勢力カ衰ヘタヤウテアリマスケレトモ通俗ノ感想ニ於テハ漠然ナカラ尚ホ其ノ影響カ強ク働イテ居ルヤウテアリマス。ソレハ金属説ノ結論カ日常ノ体験ヲ裏書スルカノ如クニ見エル爲テハナカラウカト私ハ思フノテアリマス。通貨ノ価値ハ如何ニシテ決定サレルト致シマシテモ金本位制ノ下ニ於テハ通貨ノ価値カ金ノ価値ト一致スルトイフコトハ前ニ申シタ通リテアリマス。ソレハ法制ニ依テ地金ト通貨トノ間ニ相互自由ノ変通カ行ハレマシテサウシテ通貨ト金トノ比率カ一定サレテ居ルカラテアリマス。我国アハ金一匁ニ付キ五圓トイフノカ即チ其ノ比率テアリマス。通貨五圓ヲ以テ米二斗ヲ買得ルナラハ金一匁モ亦米二斗タケノ価値カアルノテアリマス。然ルニ現実ニ流通スル兌換券ヤ其

ノ代用タル小切手カ何故購買力ヲ有スルカトイフコトハ一寸分リニクイカ金ニ価値ノアルトイフコトハ誰ニテモ分ル。サウシテ通貨ハ金ニ交換サレルカラ購買力ヲ持ツノタトイフナラハ一應成程ト首肯サレル。ソコテ通貨ノ価値ハ金ノ価値ニ依ツテ決定サレルトイフ學説ノアルコトヲ聞イテ五圓ト金一匁トカ等シク米二斗ニ相當スルトイフ事實ニ照シ直ニ我意ヲ得タリトイフ風ニ感スルノテハナカラウカト思ヒマス。併シナカラ通貨ノ價値ノ問題ハ左樣ニ手輕ニハ片付ケラレナイ。モツト根カ深イノテアリマス。

金若クハ其ノ他ノ貴金屬ニ結付ケナイテ通貨カ何故購買力ヲ有スルカトイフコトハ考ヘテ見ルト大變ムツカシイ問題ニナリマスカ紙幣流通カ發達シタ社會ニ於テハ其ノ紙幣カ金ニ交換サレ得ル場合即チソレカ兌換券テアル場合テモ一般ニハサウイフコトヲ自覺シテハ居ラナイト私ハ思ヒマス。尤モ金ニ交換サレルトイフヤウナコトハ

考ヘナイテ其ノ長受カ行ハレテ居ルトイフ方カ日常ノ経験タトモ謂ヒ得ルト思ヒマス。不換紙幣サヘモ通貨トシテ歓迎刀ヲ待ツトイフ事実ハ屢出現シテ居ルノテアリマスカラ通貨ノ価値カ必スシモ其ノ素材タル貴金属ニ起因スルト言ヘナイコトハ明カテアリマス。通貨カ何故価値ヲ有スルヤトイフ一般問題ハ更ニ進ク厳ク考ヘナケレハナラナイノテアリマシテ私ハ今日ハ其ノ問題ニハ触レマセヌケレトモ暫ク問題ヲ金本位制ノ下ニ於ケル事態ニ限リマシテ通貨ハ金ニ交換サレ得ルカ故ニ価値ヲ有スルノタトイフコトヲ假ニ容認致シマシテモソレカラ一足跳ヒニ通貨ノ価値ハ金ノ価値ニ依ツテ決定サレルトイフ結論ハ生シナイタラウト私ハ思ヒマス。通貨ノ価値カ何故生スルカトイフ問題ト通貨ノ価値ハ如何ニシテ決定サレルカトイフ問題トハ區別シテ考ヘルコトカ出來マスシ又區別シテ考ヘテ見タ方カ妥當テハナイカト思ヒマス

元來通貨ノ價値ノ決定トハトウイフコトカ。此處マデ來テカラ說明ヲスルノハ少シ順序カ悪イカモ知レマセヌカソレハ通貨ニ固定不動ノ價値ヲ附與スルトイフ意味テハナイノテアリマス。決定トイフカラ何カソコニ固定不動ノ價値ヲ附與スルカノ如クニ聞エマスケレトモサウイフ意味テハナイノテアリマス。如何ナル制度ノ下ニ於キマシテモ通貨ノ價値ハ殆ト常ニ變動スルノテアリマス。金本位制ノ下ニ於テモソノ變動ハ免レナイノテアリマス。ソノ變動ノ方向及シ程度ヲ決定スルノカ通貨ノ價値ノ決定テアリマシテソノ決定ノ原因ハ何カトイフノカ通貨ノ價値決定ノ問題テアルノテアリマス。五圓ヲ以テ買得ル米カ或時ハ三斗テアリ或時ハ二斗テアリ或時ハ一斗五升テアル。米ハ一例トシテ擧ケルノテアリマスカ通貨ノ購買力ハ米トイフカ如キ一種ノ財貨ニ對シテ變動スルハカリテナク一般財貨ニ對スル平均ニ於テモ變動スル。ソレカ通貨ノ價値ノ變動テアリマス。

ソノ變動ノ方向及ヒ程度ヲ決スルノカ通貨ノ價値ノ決定テアリマス。

然ルニソノ變動カ金ノ價値ノ變動ニ依ツテ起ルトハトウモ考ヘラレナイ。金本位制ノ下ニ於テハ度々申スヤウニ通貨ノ價値ニ變動カアル時ニハ金ノ價値モ亦直クニ變動シテ居ルノテアリマス。若クハ金ノ價値ニ變動ノアル時ニハ通貨ノ價値モ亦變動シテ居ルノテアリマスカ通貨關係以外ニ專ラ金ノ價値ニ變動スヘキ理由カアツテソレトヲ說明シ難イト私ハ思フノテアリマス。何十年トイフヤウナ長イ期間ニ渉ル所ノ通貨ノ價値ノ變動ハソノ間ニ於ケル產金ノ狀況トイフヤウナ金ノ側ニ屬スル所ノ事情ニ重キヲ置イテ說明スル方モ妥當テアル場合モアリマセウ。併シナカラ此處テ又稍々實證的ノ研究カ出來マスカ昨年カラ今年ニ掛ケテ英米等ニ於キマシテ物價カ著シク下落シテ居リマス即チ通貨ノ價値カ騰貴シテ居リマス。然ルニソノ

間英米トシマシテハ貨幣制度ニモ変更カアリマセス世界ノ産金事情ニモ大シタ変化ハナイノデアリマス。ソレタノニ英米等ニ於キマシテ物価カ著シク下落ヲシテ居ル。二個カラモ下落ヲシナ居ル、日本ハソノ間ニ金解禁カアリマシタカラ輸貿上貨幣制度ノ変更カアツタトイフ事情カ加ハリマスケレトモ英米等ニ於キマシテハ貨幣制度ノ変更モナイ又産金事情ニモ大シタ変化カナイニモ拘ラス昨年カラ今年ニ掛ケテ著シク物価カ下落シテ居ル。其ノ変動カ金ノ価値ノ変動カラ来タトハトウモ考ヘラレナイノデアリマス。事ロ金及ヒ其他ノモノヲ以テ構成サレル通貨ノ職能的作用即チ通貨ノ経済活動ニ劃スル一般関係ニ於テ価値変動ノ重要ナル原因ヲ認ムヘキデアラウト思フノデアリマス。

又若シ通貨ノ価値カ金ノ価値ニ依ツテ決定セラレルモノデアリマスナラハ金本位制ノ下ニ於ケル諸国ノ通貨ノ価値ハ略々均一デアル

ヘキ筈デアリマス。然ルニ同シク金本位制ノ下ニ在ツテモ通貨ノ對内價値ハ國ニ依ツテ隨分著シク違ツテ居リマス。日本ハ一般物價ノ平準カ高過キルトイフヤウナコトヲ屢々御聞キニナルデアリマセウカ即チ金本位制ヲ共通ニ採ツテ居ル國ノ間デモ對内價値ハ隨分著シク違ヒ得ルノデアリマシテ此ノ點カラ考ヘマシテモ通貨ノ價値カ專ラ金ノ價値ニ依ツテ決定サレルトイフコトハ言ヘナイタラウト私ハ考ヘルノデアリマス。

尙ホ通俗的ニ通貨ノ價値ノ決定トイフノハ通貨ノ單位ヲ金ノ一定量ニ結付ケルコトヲ言ヘテ居ル人モアリマス。是レハ殆ト問題ニスル必要モナイ位デアリマスケレトモ中々サウイフ感想ハアルノデアリマス。尤モ外國爲替ノ問題即チ一國ノ通貨カ他ノ金本位國ノ通貨ニ對スル關係トシマシテハ左樣ニ觀ルコトカ出來ルノデアリマス。一國ノ通貨ノ單位カ例ヘハ金二分ヲ以テ一圓トスル金一匁カ五圓タ

トイフヤウナ風ニ決ツテ居リマスレハソレカ他ノ金本位國ノ通貨ト交換セラルヘキ相場ハ兩國ノ通貨ノ各單位ノ含有スル金ノ比率ヲ見當トシテ決定サレルノハ當リ前テアリマス。實際相場ニハ多少ノ變動カアリマシテモ右ノ比率ニ依ル相場ヲ大ニ離レルコトハナイノテアリマス。卽チ爲替ノ術語テ上下現送點ノ間ニ爲替相場ノ變動カ止マルトイフノハソノ事テアリマスカ是カ通貨ノ對外價値ノ安定トイフノテアリマス。卽テ通貨ノ對外價値ハ金ニ依ツテ決定サレルトイツテモ必シモ差支ナイテアラウト思ヒマス。併シ通貨ノ對內價値ノ問題トシテハ通貨ノ單位ヲ金ニ結付ケルコトカ卽チ通貨ノ價値ノ決定タトイフノハ全然意義ヲナサナイノテアリマス。金一匁カ五圓ト決マルコトハ金ノ側カラ言ヘハ價格ノ決定テアリマスケレトモ金ノ價値モ通貨ノ價値モソレテ決定サレルノテハアリマセヌ。此處テ皆樣ニハ必要ノナイ蛇足ノヤウテアリマスカ今ハ通俗感想ノ批判ヲシ

テ居ルノデアリマスカラ少シ用語ノ説明ヲ致シマス。即チ価格ハ財貨カ通貨ト交換サレル比率デアリマス。価値ハ通貨又ハ財貨カ他ノ財貨ト交換サレル比率デアリマス。随テ商品トシテノ地金ニハ価格ト価値トカアリマスケレトモ通貨ニハ価値カアルタケテ価格ハ有得ナイ。通貨ノ価格トイヘハ通貨ト通貨トノ交換比率デアリマシテ外国通貨ニ対スル為替相場ヲ指シマスカ又ハ一国内ニ併存シテ就一セラレサル種々ノ通貨ノ関係ヲ指ス場合ノ外ニハ成立シ得ナイ用語デアリマス。

ソコデ通貨ノ単位カ金ニ結付ケラレテ五圓カ金一瓦ト決マリマシテモ通貨ノ価値ト金ノ価値トカ一致スルタケデアリマシテ通ノ五圓又ハ金一瓦ト交換サレル米ハ何斗デアルカトイフ問題ハ更ラニ時々決定サレテ行カネハナリマセヌ。対外関係ニ於キマシテモ日本ノ通貨カ金ト結付ケラレルコトニ依リマシテ其ノ米國ノ通貨ニ対スル比

率カ決マリマス。百圓ハ四十九弗二分ノ一見當テアルトイフコトニ決マリマスケレトモ日本ノ一圓テ米國ノ棉花何斤ヲ買得ルカハ更ニ時々決定サレテ行カナケレハナラヌノテアリマス。畢竟スルニ通貨ノ價値即チ一般財貨ニ對スル通貨ノ購買力ハ如何ナル通貨制度ノ下ニ於テモ定着セスシテ時々決定サレテ行クノテアリマス。金本位制ノ下ニ於テハ金ノ價格ハ一定サレマスカ共通ナル金ノ價値ト通貨ノ價値トハ時々決定サレツヽ推移ツテ行クノテアリマシテ其ノ時々ノ決定ハ何ニ起因スルカトイフノカ問題ノ眼目テアリマス。ソコニ論究ノ必要カ生スルノテアリマス。若シ通貨ノ單位ヲ金ノ一定量ニ結付ケルノカ通貨ノ價値ノ決定タトスルナラハ金本位ノ制定ニ依リマシテ問題ハ終結シテシマウヘキ筈テアリマスカサウイフモノテハナイノテアリマス。金ノ價格カ一定スルカ故ニ通貨ノ價値カソレニヨッテ決定サレルトイフ樣ナ感シハ言ヤヽモテモナイ吾シキ錯覺テア

リマス。

今日ノ論述ハ金ノ價値カ專ラ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフ方ノ側ノ考ニ對スル批評テアリマシテ其ノ結果ソレハ首肯シ得ナイトイフコトニ到着シタノテアリマス。今日ハ是タケニシテ置キマシテ明日ハ通貨ノ價値カ專ラ金ノ價値ヲ決定スルトイフ方ノ側ニ對スル考ヲ申上ケルコトニ致シタイト思ヒマス。（三日第一囘）

問題ノ進展

昨日申上ケマシタコトハ理論的ニハ何レノ方面ニモ大シタ御異議ハナイテアラウト思ヒマス。實テ分リ切ツタコトテアツタカモ知レマセヌ。實ロ御退屈ノ招イタノテハナイカト思ヒマス。今日申上ケルコトニ就キマシテハ私トハ幾分考ノ方向ヲ異ニシタ意見カ世間ニ出テ居リマス。隨テ私ノ見解ニ對スル御賛否ハ別トシ總イテ敷キ

マス價値カ少シハ多イカモ知レナイト思ヒマス。

昨日甲上ケマシタコトヲ玆ニ要約致シマスト通貨ノ價値ハ金本位制ニ依ツテ金ト結付ケラレテモ金ノ價値ト歩調ヲ一ニシテ時々變動シテ行ク。ソノ變動ノ方向及ヒ程度ヲ決定スルノカ通貨ノ價値及ヒ是ト一致スル所ノ金ノ價値ノ決定テアル。ソノ決定ノ原因ヲ擧ラ會ニ歸スルノハ妥當テナイ。「事ラ」トイフ言葉ニ置キヲ換キタイ。通貨ノ職能的作用ノ方ニモ置キヲ換カナケレハナラナイ。斯ウイフコトテアリマス。

然ルニソレテハ金ノ側ニ就キマシテモ通貨ノ側ニ就キマシテモ留保カ付イテ居ル。トノ方ニモ置テヲ換クヘキテアルトイフヤウナコトテハツキリ決ツテ居ナイ留保付キテアル。サウイフ留保ノナイヤウニ一層明快ニシテ截然タル見解ヲ立テルコトハ出來マイカ。斯ウイフコトカ次テ考究セラルヘキ問題トナルノテアリマス。金本位制

ノ下ニ於テハ通貨ノ價値ハ金ノ價値ト一致シマスカラソノ價値ノ變動カ特ニ伺レカノ働カラ起ルト致シマシテモ直クニ他ノ働ニ推及ンテ是ト混和スルノテアリマス。隨テ時々ノ價値決定カ何レノ働カラ起ツタカトイフコトヲ判然ト鑑別スルコトハ頗ル困難テアリマス。併シナカラ昨日申上ケマシタヤウニ通貨カ種々ナルモノヲ以テ構成サレテ居ルトイフ現在ノ實情ニ於キマシテハ金ハ通貨ヲ構成スルモノヽ全部テハナイノテアリマス。ソレカラ又通貨關係以外ニ於テ實買ノ對象トナル所ノ金ノ量ハ通貨及ヒソノ代用物ノ量ニ比スレハ遙カニ少ナイモノテアリマス。ソレタケノ理由テモ通貨ノ價値カ無留保ニ全然金ノ價値ニ依ツテ決定サレルトイフコトハ言ヒ得ナイ告ト思ヒマス。唯金カ通貨トシテ用ヒラレマシタ被端ニ於テハ金ノ價値カ通貨ノ價値ニナツタニ過ヒナイトイフコトハ昨日申シタ通リテアリマス。尚又通俗ノ感想ニ於テハ通貨ノ價値トイフモノハ何タカ抽

ミニクイモノデアルカ金ノ価値トイフモノハ分リ易イヤウニ思ハレマス。ソレデ金ノ価値ヲ通貨ノ価値ノ基本トスルトイフ見方カ厳クー世間ニ行ハレテ居ルノデアラウト思フノデアリマスカ最端ノ事情ニ囚ハレテソノ後ノ推移ニ瞬シテ行カナイノハ妥當デナイトイフコト、通俗ノ感想カ錯誤デアルトイフコトハ昨日申シマシタ通リデアリマス。此ノ方面ハソレデ先ツ結着カ付クモノト見テ宜シカラウト思ヒマス。即チ金ノ価値カ通貨ノ価値ヲ決定スルト無論保ニハ言ヒ得ナイトイフコトニナリマス、ソコデ殘ル所ノ問題ハ共通デアル所ノ金ノ価値ト通貨ノ価値トカ事ラ通貨ノ側ニ属スル所ノ原因ニ依ツテ決定サレルカトウカ斯ウイフコトニナルノデアリマス。ソレカ今カラ考ヘテ見タイト思フ問題デアリマス。

通貨ノ価値カ金ノ価値ヲ決定スルトイフ見方ハ二ツノ途ニ分レマス。第一ノ見方ハ、昨日モ一寸申シマシタカ通貨ノ価値ハ歴史的經

通貨ノ職能的作用ト云ハ何カトイフ論究ハ簡單ニハ片付ケラレナイ之ヲ的確ニ決メルコトヲ私ハ今試ミマセヌノテアリマスガ概シテ申シマスト通貨ノ職能的作用トイフノハ通貨ガ財貨ノ賣買ニ使用サレルコトタトイツテモ宜シイテアリマセウシ通貨ト經濟活動トノ交渉テアルトイツテモ宜シイタラウト思ヒマス。サウシマスト其ノ作用ニハ明白ニ金カ關係シテ居ルノテアリース。卽チ金ハ通貨ヲ構成スルモノヽ全部テハナイカ一部テアリマス。ソレカラ經濟活動ノ中ニハ地金ノ取引カ含マレテ居リマス。此ノ如ク金カ關係シテ居ル所ノ作用テアリマスカラ通貨ノ價値カ全然金ノ側ニ於ケル事情ニ依ラニ決定サレテ金ノ價値カソレニ引付ケラレルノタトイフ事ハ達觀的ニ考ヘテ見テモ頗ル早計ノコトテアラウト思ハレマス。併シ此ノ方面ニ關スル議論ハサウイフ達觀的ノ見方テハ濟マナイ樣ニ頗ル微細ノ點ニ渉ツテ居リマスカラ之ヲ分析シニ考ヘテ見ナケレハナラスト

欠

MISSING

通貨ノ職能的作用ト云ハ何カトイフ論究ハ簡單ニハ片付ケラレナイ之ヲ的確ニ決メルコトヲ私ハ今試ミマセヌノテアリマスガ概シテ申シマスト通貨ノ職能的作用トイフノハ通貨ガ財貨ノ賣買ニ使用サレルコトタトイツテモ宜シイテアリマセウシ通貨ト經濟活動トノ交渉テアルトイツテモ宜シイタラウト思ヒマス。サウシマスト其ノ作用ニハ明白ニ金カ關係シテ居ルノテアリマス。卽チ金ハ通貨ヲ構成スルモノヽ全部テアリマス。ソレカラ經濟活動ノ中ニハ地金ノ取引カ含マレテ居リマス。此ノ如ク金カ關係シテ居ル所ノ作用テアリマスカラ通貨ノ價値カ全然金ノ側ニ於ケル事情ニ依ラニ決定サレテ金ノ價値カソレニ引付ケラレルノタトイフ事ハ達觀的ニ考ヘテ見テモ頗ル早計ノコトテアラウト思ハレマス。併シ此ノ方面ニ關スル議論ハサウイフ達觀的ノ見方テハ濟マナイ樣ニ思ハル微細ノ點ニ渉ツテ居リマスカラ之ヲ分析シニ考ヘテ見ナケレハナラスト

イフコトニナリマス。

私ハ此ノ問題ヲ二段ニ區別シテ考ヘルノカ便宜タト思ヒマス。第一段ハ通貨ヲ構成スルモノヽ一部テアル所ノ金カ通貨ノ價値ニ如何ナル關係ヲ持ツテ居ルカトイフ事テアリマス。第二段ハ通貨關係以外ニ存在スル金ノ取引カ通貨ノ價値ニ如何ナル影響ヲ及ホスカトイフコトテアリマス。先ツ第一ノ「通貨調節論」ノ中テハ兌換券發行ノ準備トナツテ居ル金ニ就テノ方カラ考察ヲ始メマスカ殊ニ私ノ考察カ頗ル不十分テアリマシタカラ今囘ハソレヲ補足シタイト考ヘマス。兌換券發行ノ準備ニナツテ居リマス金ハ即チ通貨ヲ構成スルモノヽ一部タル金テアルト私ハ着ルノテアリマス。ソコテ無用ノ紛議ヲ避ケルタメニ先ツ私ノ使ヒマス用語ノ意義ヲ少シ說明シテ御理解ヲ願ヒタイノテアリマス。用語ノ意義ヲ妥當ニ理解スルコトハ單ナル用語ノ問題テハアリマセヌノテ、ソレニ依ツテ論點カ何處ニ在

ルカヲ把握スルコトニナルノテアリマス。煩瑣テ五月蠅イヤウナ御感シカアルカ知リマセヌケレトモ用語ノ上ニ於テ同シ言葉ニ私ノトハ違ツタ意義ヲ與ヘル考ヘ方カ矢張世間ニ既ニ出テ居リマスカラ少シク御辛抱ナサツテ御聽キヲ願ヒタイノテアリマス。

用語ノ理解

金貨カ流通シテ居リマス場合ニハソレハ明白ニ通貨ヲ構成スルモノテアリマス。之ニ就テハ何等ノ疑ヒモ異議モナカラウト思ヒマス金貨ノ外ニ兌換券及ヒ補助貨カ流通シテ居リマスナラハ流通金貨ハ通貨ヲ構成スルモノヽ全部テハナイカ其ノ一部テアリマス。ソレカラ金貨又ハ地金カ兌換券發行ノ準備トナツテ居リマス場合ニハ其ノ金ハ現ニ流通シテ居ル所ノ通貨テハアリマセヌケレトモ其ノ金準備ト同額ナル兌換券カ金ノ身代リトシテ流通シテ居ルト觀ルヘキテア

ラウト私ハ考ヘマス。ソレタケハ通貨カ金ニ依ツテ構成サレルト看做ンテモ宜カラウト思フノテアリマス。流通金貨ハ現ニ流通シテ居ルノテアリマスカラ看做ストイフヤウナ見解ノ問題ハ起リマセヌカラ金準備ニ依ツテ發行サレテ居ル兌換券ハ金ノ身代リテアルカ故ニ金ニ依ツテ構成サレルト看做ストイフノテアリマスノ此處ニ見解ノ問題カ這入ツテ來ルノテアリマス。金準備發行ノ外ニ更ニ保證發行ノ兌換券カ流通シテ居リマスナラハ金準備ニ相當スル所ノ兌換券ハ金ノ身代リテサウシテ通貨ヲ構成スルモノト一部タトイフコトニナリマス。金準備ニ依ツテ發行サレル兌換券モ保證ニ依ツテ發行サレル兌換券モ既ニ發行サレテ世間ニ出テシマウタ上ハ職能的作用及ヒ兌換ノ可能性ニ於テ區別ノナイモノテアリマス。併シナカラ通貨構成ノ見地カラ申シマスナラハ性質ヲ異ニシテ居ルノテアリマシテ金準備相當額丈ケハ金ニ依ツテ構成サレルモノト看做シ得ルノテアリマ

スカ保證發行ニ依ルモノハ金ニ依ツテ構成サレルト看做スコトハ妥當テナイト思ヒマス。ソコテ保證發行カ併存スル場合ニハ流通金貨及ヒ金準備相當額ノ兌換券ヲ以テ通貨ノ總量中金ニ依ツテ構成サレテ居ル部分ト私ハ觀ルノテアリマス。

然ルニ是トハ違ウタ見方カアリマス。ソレハ發行サレタル兌換券ノ一部即チ金準備相當額ノ兌換券カ金ヲ以テ構成サレルトハ看做サナイテ發行サレタル兌換券ノ全部ト其ノ準備タル金トカ貨幣トシテ併存スルモノトシサウシテ兌換券ハ流通シテ働イテ居ルカラ通貨ノ價値ヲ決定スルケレトモ正貨準備タル金ハ發券銀行ノ庫ノ中ニ處テ居ルノテアルカラ通貨ノ價値決定ニハ直接關係カナイト斯ウ看ラレルヤウテアリマス。數字ヲ假設シテ申シマスナラハ一億圓ノ金貨カ正貨準備トナツテ二億圓ノ兌換券カ發行サレテ居ル。ソノ場合ノ貨幣ノ在高ハ三億圓テアルカソノ價値ヲ決定スルノハ發行サ

レテ居ル二億圓ノ兌換券テアル、庫ノ中ニ寝テ居ル一億圓ノ金貨ハ直接價値ノ決定ニ關係カナイ。庫中ノ金貨カ發行サレテ居ル二億圓ノ兌換券ト共同シテ三億圓ノ貨幣ノ價値ヲ決定スルトイフノハ不都合タト斯ウイフ風ニ看テ居ラレルヤウテアリマスガ、是ハ見方及ヒ用語ノ意義ノ相違テアリマシテ私ノ趣旨カ克ク理解サレテ居ナイノテアリマス、貨幣トイフ觀念ニ即シテ考ヘマスレハ正貨準備タル金貨モ發行サレテ居ル兌換券モ貨幣テアルト謂ヒ得ルテアリマセウ。然ルカ故ニ前掲假設ノ場合ニ於テ貨幣ノ物的存在高カ三億圓タトイフコトカ由來ルテアリマセウ、斯ウイフ風ニ見テ行キマスト發行サレテ居ル兌換券ノ内正貨準備相當額ノ一億圓ト其ノ準備タル一億圓ノ金トハ二重ニナツテ居リマスカラ兩方カ貨幣ノ價値ノ決定ニ關係スルトハ固ヨリ言ヘマセヌ、庫中ニアル金ト之レニ相當スル兌換券トカ共同シテ貨幣ノ價値ヲ決定スルトイフカ如キハ固ヨリ容認セラル

ヘキテハアリマセヌ。ソコテ貨幣ノ存在高ヲ三億圓ト着ルナラハ其内ノ一億圓ハ働カナイテ寢テ居ルトテモ着ルノ外ハナイコトニナルテセウ。トナラヌ寢テ居ルト看ルヘキカハ云ヘハ無論庫中ニアルモノヽ方テアリマス。ソレテ金ヲ寢テ居ルモノトスル。是レハ金ノ働ラキヲ否定シ、又ハ輕視スルニハ誠ニ恰好ノ構想テアリマス。貨幣ノ物的存在トイフ方カラ考ヘレハ左樣ナ構想モ成立シ得ルテアリマセウ。私ハ必シモ之ヲ排斥スルノテハアリマセヌカ私ハ別ノ見方モ出來ルト思フノテアリマス。兎ニ角設例ノ場合ニ於テ發行サレテ居ル二億圓ノ兌換券ト庫ノ中ニアル一億圓ノ金貨カ共同シテ通貨ノ價値ヲ定メルトイフノハ決シテ私ノ見解テハアリマセヌ。ソレヲ「通貨調節論」ニ於ケル私ノ見解テアルカノ樣ニ云ハレル方モアリマスカソレハ私ノ意味カ能ク徹底シナカツタノテアリマス。「通貨調節論」中ニ左樣ニ解セラレル語句カアツタナラハソレハ用語ノ不備ト

シテ大方ノ賞恕ヲ請フノ外ハアリマセヌ。

是レカラ私ノ見方ア前掲ノ設例ニ即ンテ説明シマス。私ハ貨幣ノ物的存在高ニ着眼ヲ致シマセステ其ノ経済的作用ニ着眼シ貨幣ト云フヨリモ寧ロ通貨トイフ観念カラ出発シマス。サウ致シマスト右ノ設例ニ於テノ通貨ノ在高ハ三億圓テハナイ、発行サレテ居ル二億圓ノ兌換券テアル。サウシテ通貨ノ貨値ノ決定ニ關係スルノハノノ二億圓ノ兌換券テアリマスケレトモ其ノ中ノ一億圓ハ庫ノ中ニ在ル金ノ身代リトシテ働イテ居ルノテアリマスカラ其ノ部分ニ關スル限リ通貨ハ金ニ依ッテ構成サレルト看做スノテアリマス。此ノ見方テ行ケハ金ハ庫ノ中ニアルケレトモ寝テ居ルトイフ比喩ハ妥當テナイト考ヘマス。尤モ比喩ハトウト正確ニ趣旨ヲ傳ヘ得ナイモノテアリマスカラ私自身ハ餘リ好ミマセス。隨テ比喩ニ就イテ爭フコトハ避ケタイト思ヒマス。又現ニ流通シテ居ルノハ紙テアル所ノ兌換券テア

ルカラソレカ金ニ依ツテ構成サレルト看做スノハ不都合タト言ハレマスナラハ、ソレモ用語ノ問題トシテ私ハ強ヒテ爭ヒマセヌ。併シ發行サレテ居ル兌換券ノ中ノ正貨準備相當額ハ其ノ正貨準備カナケレハ發行ノ出來ナイモノテアルカラ兌換券カ金ノ身代リトシテ出テ働イテ居ルト言ツテモ差支アルマイト思ヒマス。強イテ論爭ヲ好ムモノニアラサレハ是レタケハ承認サレルタラウト思ヒマス。金ノ身代リテアル一億圓ヲ含ム所ノ二億圓ノ兌換券カ通貨ノ職能的作用ヲ爲シテ居ル、サウシテ其ノ作用ハ通貨ノ價値ヲ決定スル重要ノ原因テアルトスルナラハ其ノ兌換券ノ中ニ金ノ身代リタルモノカ含マレテ居ルトイフコトハ直接ニシロ間接ニシロ通貨ノ價値ノ決定ニ如何ナル關係ヲ有スルカ。斯ウイフコトヲ私ハ問題トスルノテアリマス若シ金ノ身代リトイフ用語ニ就イテ尚異議カアルナラハ金カアツテ始メテ發行ノ出來ルモノトイフタケテ宜シイ。是レハ見方ヤ用語ニ

依ツテ變ラナイ赤裸々ノ事態テアリマス。設例ヲ離レテ一般的ニ云ヘハ相當ノ金準備ノ存在スルコトハ金本位制維持ノ必要條件テアリマス。言ヒ換ヘレハ發行サレテ居ル兌換券ノ中ニハ私ノ言ウタ所ノ金ノ身代リタルモノ若シ身代リトイフ用語ヲ嫌フナラハ金準備ニヨリテ發行サレタルモノカ常ニ或ル程度ニ存在シナケレハナラナイノテアリマス。此ノ法制上及ヒ實際上ノ制約カ通貨ノ價値決定ニ如何ナル關係ヲ有スルカ之ヲ私ハ問題トスルノテアリマス。

正貨準備タル金ト發行サレテ居ル兌換券トカ共同シテ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフノカ私ノ見解タト思ハレルニ至ツタノハ何故テアラウカト考ヘテ見マスト昨日カラ今日ニ掛ケテ「通貨關係以外」トイフ言葉ヲ屢々使ヒマシタカソレヲ私ノ著述「通貨調節論」ノ中テハ「通貨以外」トイフ言葉ニシテアリマス。卽チ通貨以外ニ存在スル金トイフ樣ナ言葉ニナツテ居ルノテアリマンテ是カ私ノ意味ヲ傳

ヘルノニ不適當テアツタノカモ知レマセヌ。通貨以外ニ存在スル金ト私カ申シマシタノハ工藝用、貯藏用等ニ用ヒラレル金即チ地金トシテ取引サレル金ヲ指シタノテアリマス。兌換券發行ノ準備テアル金ハ其ノ身代リカ流通シテ居ルト看マスカラ通貨ノ中ニ含メタツモリテアリマス。其ノ意味ヲ以テスレハ金ヲモ含ム通貨ト工藝用、貯藏用等ノ金トカ共ニ通貨ノ價値ノ決定ニ與ルトイフ事ニナリマス。是レハ正貨準備タル金ト兌換券トカ共同スルトイフノトハ別ナ事テアリマス。併シナカラ私カ今述ヘタ樣ナ意味ヲ通貨以外トイフノハ正確テナイト言ハレテモ仕方カナイノテアリマス。流通シテ居ル兌換券カ通貨テ、正貨準備タル金ハ通貨以外ニ存スルノタトイフ樣ニモ解釋サレル餘地カアリマス。ソレテ先キニ「通貨以外」ト云ツタノヲ今回ハ「通貨關係以外」ト改メタノテアリマス。正貨準備テアリマス所ノ金ハ通貨以外ニ存在シテ居ルノタト言ハウトスレハ言ハ

レマセウ。併シナカラソレハ通貨ノ基礎トナツテ居ルノデアリマスカラ通貨關係以外タトハ言ハレナイタラウト思ヒマス。正貨準備タル金ハ通貨關係以外ニアツテ通貨ト共同シテ通貨ノ價値ヲ決定スルノデハナク通貨ノ構成分子トシテ通貨ノ價値ノ決定ニ與ルト云フノガ私ノ見方デアリマス　尚ホソノ用語ニ對シテ種々ナル細カイ議論カアリマシテモソレハ單ナル用語ノ問題デアリマシテ私ノ趣旨ト論點トハ最早明瞭デアラウト思ヒマス。

通貨ノ補助ニ於ケル金ノ地位

用語ノ意義ノ説明カ餘リ長クナリマシテ失禮デアリマスカ前ニモ申シマシタヤウニ用語ヲ説明シテ議點カ何處ニ在ルカヲ指摘シテ行キマス間ニ問題ソレ自身ノ解決モ幾分歩ヲ進メタト謂ヒ得ルノデアラウト思ヒマス。是カラ前ニ申シマシタ通貨ヲ構成スルモノノ一部

タル金カ通貨ノ價値ノ決定ニ如何ナル關係ヲ有スルカトイフ問題ノ實質的考察ニ入リタイト思ヒマス。

不換紙幣ノ場合ニハ通貨ノ職能的作用ハ全ク金トハ無關係ニ行ハレマス。即チ通貨ノ發行ハ經濟活動ノ趨勢ニ依ツテ影響セラレ發行當局者ノ裁量ニ依ツテ調節セラレルノミテアリマス。此ノ場合ニハ金ニ關係ガアリマセヌ。併シナカラ金本位制ノ下ニ於テハ通貨ノ相當部分ハ金ヲ以テ構成サレテ居ラナケレバナリマセヌ。ソノ構成トイフコトハ私ノ先程申シマシタ廣イ意味テ兌換券發行ノ準備タル金モ通貨ヲ構成スルモノト看做スノテアリマス。併シソノ用語カラ紛議カ起ルコトヲ避ケントスルナラハ發行兌換券ノ相當部分ハ金ノ身代リタルモノテナケレバナラヌ若シクハ通貨ヲ發行シテ之ヲシテ職能的作用ヲナサシメルニハ相當額ノ金カソノ基礎トナツテ居ナケレバナラナイト斯ウ申シテモ宜シイノテアリマス。用語ハトチラテモ

宜シイカ論述ヲ簡単ニスルタメニ先キニ充分説明シテ置イタ意義ヲ諒解セラレテ通貨ノ構成トイフ言葉テ考察ヲ進メルコトヲ許サレタイ。通貨ノ構成ニトレタケノ金カ必要テアルカトイフコトニナルト時々ノ事情國々ノ事情ニ依ツテ違ヒマシテ判然タル標準ヲ立テルコトハ出來マセヌケレトモ兎ニ角何分カノ金ハ持ツテ居ナケレハナラヌノテアリマス。ソノ必要ナル金ヲ獲得スルコトノ難易ハ通貨ノ價値ニ影響ヲ及ホスヘキ筈テアリマス。獲得ノ困難ナルモノハ價値カ高キニ傾キ獲得ノ容易ナルモノハ價値カ低キニ傾クトイフコトハ疑ヒノナイ事テアラウト思ヒマス。ソノ困難ノ程度及ヒ容易ノ程度ハ一方ニ於テハ通貨ヲ構成スル爲ニ必要トスル金ノ額即チ通貨ノ側カラ生スル金ノ需要ト他方ニ於テハ金ノ在高及ヒ生産ノ事情トニ依ツテ決定サレルテアラウト思ヒマス。茲ニ決定ト申シマスノハソレカ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフノテハアリマセヌノテ必要ナル金ヲ獲

得スルコトノ難易カ決定サレルトイフタケデアリマス。サウシテ通貨ノ價値ハ其ノ構成ニ必要ナル金ヲ獲得スルノ難易ニ依ツテ影響サレルトイフタケニ止マツテ居ルノデアリマス。既ニ金カ通貨ノ素材デアリマスカラニハ一般購買力デアル所ノ通貨ノ價値ト一致スル金ノ價値ハ普通ノ財貨ノ場合ニ於ケル如ク生産費説、勞働説、需要供給説、限界效用説、又ハ此ノ頃新シク唱ヘラレマス社會的勢力説トイフヤウナ理論ヲ以テ律スル譯ニハ參リマセヌ。是等ノ理論ハ普通ノ財貨ヲ對象トシテ考ヘラレタモノデ一般購買力デアル所ノ通貨ノ價値ニ之ヲ其儘適用スルコトハ出來ナイト私ハ考ヘマス。ソレデアリマスカラ金ヲ獲得スルノ難易ト申シマシテモソレタケデ通貨ノ素材タル金ノ價値カ決マルトイフコトヲ申スノデハアリマセヌ。寧ロ通貨ノ總和ノ職能的作用カ通貨ノ價値ヲ決定スル重要ノ原因デアルト私ハ風ニ認メテ居ルノデアリマス。否認メルハカリデナク主張シ

テ居ルノテアリマス。只金ハ通貨ノ一部ヲ構成スルモノテアルカ故ニ金ヲ獲得スルノ難易カ通貨ノ職能的作用ニ依ル通貨ノ價値ノ決定ニ與ルト云フコトモ亦認メサルヲ得ナイノテアリマス。

然ルニ工藝用並ニ貨幣用ノ金ニ需要供給ノ理論ヲ適用致シマシテソレテ金ノ價値カ決定サレルトイフ學說モアリマスノテ私カ今金ヲ獲得スルノ難易ヲ以テ通貨價値決定ノ一要素トシタコトニ關聯シテ私ノ見解モ右ノ學說ニ似テ居ルモノタト思ハレルカモ知レマセヌカサウテハナイノテアリ、マス。工藝用、貨幣用ノ金ニ對スル需要供給ニ依ツテソノ價値ヲ說明スルノハ所謂金屬說ノ部ニ屬スルモノテアルカトウカ私ニハ克ク判リマセヌケレトモ兎ニ角私ノ見解ハソレトハ等ロ方向ヲ異ニシテ居ルノテアリマス。若シ金ノ價値カ左樣ニシテ決定サレルモノテアリマスナラハ金ノ價値ニ一致スル所ノ通貨ノ價値モ亦工藝用及ヒ貨幣用ノ金ニ對スル需要供給ニ依ツテ決定サレ

ルニイフコトニナリマセウカ、サウ致シマスト私カ昨日カラ今日ニ掛ケテ力説シテ居リマス所ノ通貨ノ職能ニ依ル特殊作用ヲ無視スルノテアリマスカラソレハ私ノ考トハ方向ヲ異ニスルノテアリマス。他人ノ説トノ關係ハトウテモ宜シウ御座イマスカ私ノ眞意ノアル所ハ御諒解ヲ願ヒタイノテアリマス。

殊ニ今日ノ貨情トシテ通貨及ヒ其ノ代用物ノ量ノ方カ正貨準備タル金及ヒ通貨關係以外ニ存スル金ヨリ遙カニ大ナル場合ニ於キマシテ專ラ金ニ對スル需要供給ヲ以テ通貨價値決定ノ原因トスルノハ實情ニ對シテ顧ル適合シナイ不十分ナ見解タト私ハ思ツテ居リマス。

通貨ノ仮値ト金ノ價値トカ一括シテ定マルトイフ私ノ見解ニ於キマシテハ金ニ對スル需要供給ノ外ニ昨日カラ申シマス樣ニ通貨ノ職能的作用ヲ重ク考慮シテ居ルノテアリマス。專ラ通貨ニ對スル需要供給ニ依ツテ通貨ノ價値ノ決定ヲ說明シヤウトスル系統ノ思想ニ對シ

マシテハ既ニ私ノ「通貨調節論」ノ中ニ一通貨ニ對スル需要供給」トイフ一節カアリマシテ其ノ考ヘ方ノ弱點ヲ指摘シテ居ルノテアリマス。其ノ弱點ナルモノハ通貨ニ對スル需要供給ヲ普通ノ財貨ニ對スル場合ト同シ樣ニ考ヘルトイフ點ニ在ルノテアリマス。論議カ餘リ多岐ニ亘ルカラ此ニハ詳述スルコトヲ避ケテ置キマスカ既ニ通貨ニ對スル需要供給ヲ以テ通貨ノ價値ヲ說明シ難イトスルナラハ通貨ノ總量ヨリ少キ金ニ對スル需要供給ヲ以テ通貨ノ價値ト一致スル金ノ價値ヲ說明シ得ナイコトハ申スマテモアリマセヌ。私ハトウシテ通貨ノ職能的作用トイフコトヲ考慮ニ入レナケレハ通貨ノ價値ヲ說明スルコトハ出來ナイト思フノテアリマス。併シナカラ通貨構成ノ要件テアル金ヲ獲得スルノ難易カ通貨ノ價値ノ決定ニ無關係タトイフコトニナリマシテハ是亦反對ノ方向ニ於テ極端ナル見解テ私ノ首肯シ得サル所テアリマス。從テ金ノ側ニ於テモ通貨ノ價値ノ決定ニ

與カル所ノ原因ヲ認メナケレハナラナイト私ハ思フノデアリマス。

金ヲ獲得スルノ難易ト通貨ノ價値トノ關係ハ通貨ノ價値ト通貨ノ數量トノ關係トイフ方面カラ考ヘテ見マスト一層明ニナルカト思ヒマス。卽チ通貨ノ數量カ通貨ノ價値ニ關係アル事並ニ金ノ在高カ通貨ノ數量ニ關係アルコトヲ前提トナシ得ルナラハ問題ハ頗ル簡單ニ解決サレテシマウノデハナイカト思ヒマス。ソレ故ニ最初ニ此ノ前提ヲ御記憶ニ留メラレ度イト願ツテ置イタノデアリマス。通貨ノ數量ト通貨ノ價値トノ間ニ正確ナ比例ハ立テ難イ。又其ノ關係ヲ言ヒ現ハス方式ニ就キマシテハ色々議論カアルテアリマセウケレトモ兎ニ角通貨ノ數量ノ多イ時ニハ其ノ價値ヲ低クシ通貨ノ數量ノ少ナイ時ニハ其ノ價値ヲ高クスル傾向ヲ持ツ。私ハ單ニ傾向ト申スノデアリマス。他ニモ通貨ノ價値ノ變動ヲ起スヘキ原因カアツテ高低區々ノ傾向ヲ相殺スル。隨ツテ通貨ノ數量ノ變化ハ直クニ通貨ノ價値ニ

現ハレルト申スノテハアリマセヌケレトモ兎ニ角通貨ノ数量ノ増減ハ其ノ価値変動ノ方向及ヒ程度ヲ決定スル原因ノ一ツテアルト私ハ信スル。ソレタケテ決マルノテハナイケレトモ原因ノ一ツテアルトイフコトハ申シテモ異論ハナカラウカト思ヒマス。

ソレカラ金本位制ノ下ニ於テハ通貨ノ主要部分タル兌換券ヲ請求次第ニ金ニ交換スルノ可能性ヲ常ニ維持シテ居ラナケレハナラヌノテアリマスカラ金ノ在高及ヒ金ヲ獲得スルコトノ難易ニ依ツテ通貨ノ数量カ影響サレルトイフコトモ是レ亦見易キ道理テアルト思ヒマス。此ノ点ニ於テモ金ノ在高トノ間ニ正確ナ比例ハ立テ難イカ兎ニ角金ノ在高カ多イカ又ハ金ヲ獲得スルコトカ容易テアリマスレハ通貨ノ数量ハ増加ニ傾キマス。金ノ在高カ少ナイカ又ハ之ヲ獲得スルコトカ困難テアレハ通貨ノ数量ハ減少ニ傾キマス。通貨ノ数量ヲ制約スル原因ハ他ニモアリマスケレトモ金ノ側ニ於ケル

事情カマタソノ原因ノ一ツデアルト私ハ信ズル。一言ニシテ申シマスレハ金ノ側ニ属スル所ノ事情ハ通貨ノ数量ニ對スル影響ヲ統出シテ通貨ノ價値ニ影響スルト斯ウ考フヘキデアラウト思ヒマス。

尤モ金カ生産サレ又ハ外國カラ輸入サレマシテモ政策ニ依ツテソノ影響ヲ通貨ノ数量ニ及ホサヌヤウニ處理スヘキ途ハ幾分カアリマス。例ヘハ世界大戰爭後巨額ノ金カ日本ニ流入シマシタ時ニ普通ナラハソレヲ日本銀行カ買取ツテ持ツノデアリマスケレトモ特ニ通貨膨脹ヲ避クル趣旨ヲ以テ政府カ其ノ一部ヲ所有シタコトカアリマス。一億圓少シ上ノ金ヲサウイフ風ニシテ政府カ所有シタノデアリマス。政府カ持ツトイフコトハ政府カ代價ヲ拂フトイフコトデアリマス。日本ノ制度ノ下ニ於テハ政府ハ補助貨以外ニ通貨ヲ造ル權能ハナイノデアリマシテ租稅カ專賣益金カ預金部ノ保有貴金カ政府カ何等カノ理由ニ依ツテ收收シタ貴金ヲ代價トシテ拂ツテ輸入サレタ

金ヲ持ツタノデアリマス。ソレタケハ金カ日本ニ流入シマシテモ通貨増加ノ原因トハナツテ居ラナイノデアリマス。日本銀行ハ兌換券ノ發行ニ伴ツテ通貨ヲ造ル權能ヲ持ツテ居リマスカラ日本銀行カ買ヘハソレタケ通貨ノ増加トナルノデアリマスケレトモ政府カ已存ノ保有資金ヲ以テ買ツタノデハ通貨ノ増發トナリマセヌ。日本銀行ハ政府ノモノヲ總テ保管シマスカラ政府所有ノ金モ日本銀行ノ庫ノ中ニアリマス。是レコソ眞ニ庫ノ中ニ藏テ居ルト云ツテモ宜シイ。此ノ場合ニ於ケル金ハ同シク日本銀行ノ庫中ニアルケレトモ日本銀行所有ニシテ正貨準備タル金トハ趣ヲ異ニシ其ノ身代リカ通貨トシテ流通シテ居ルノデハアリマセヌ。ソレヲ普通比較的ニ金ノ死藏又ハ不胎化ト云フノデアリマス。併シナカラ政府カソレタケノ金ヲ持ツテ居ルトイフコトハ必要ノ場合ニソレヲ日本銀行ニ賣却シテ兌換券發行ノ基礎トナシ得ルトイフ可能性ヲ多分ニ包藏シテ居ルノデアリ

マスカラソレタケノ金カアルノト無イノトハ通貨政策ノ處理ノ上ニ於テ大分心持カ違フノデアリマス。自然平常ノ發行ノ平心ニモ影響シマシテ先程申シマシタ金ノ獲得カ容易デアルトイフ場合ニ適合スルノデアリマス。政府カ持ツテ居ルモノデアリマスカラ通貨政策上ソレヲ發行ノ基礎ニシタ方カ宜シイトイフコトニ政府ト日本銀行ト一致スレハ直クニ使ヘルノデアリマス。山カラ金ヲ堀出ストカ外國カラ金ヲ吸收スルトカインノニ數ヘレハ獨得カ容易ナル場合ノ一ツデアリマシテソノ獲得カ容易デアルカ故ニ通貨ノ數量ハ多キニ傾クトイフ大勢ヲ成スノ原因トナツテ居ルノデアリマス。

米國ノ聯邦準備機關モ今申シタ日本ノ執ツタ政策ト似寄ツタコトヲ致シタコトカアリマス。ソレカ金ノ死藏又ハ不胎化トシテ世間ニ喧傳サレタノデアリマス。併シ米國ノ政策ハ趣旨ハ同シデアリマスケレトモ今申シマシタ日本ノ政府カ執ツタ政策程ニ徹底シタモノデ

ハアリマセヌ。日本ノハ政府ノ負擔ニ於テ全ク寢カシテシマツタ。亜米利加ノハトウシタカトイフト亜米利加テハ政府カ金證券トイヒマシテ矢張通貨ノ一部タリ得ルモノヲ發行スル權能カアリマスカラ輸入サレタ金ヲ政府ニ提供シテ金證券ノ交付ヲ受ケソレヲ通貨トシテ流通シタノテアリマス。矢張リ身代リカ出タノテアリマス。唯之ヲ聯邦準備券ノ準備トスレハ比例準備ノ制度ニ從ツテ現ニ輸入サレタ金ヨリモ多クノ通貨カ發行セラレ得ル。例ヘハ一億弗ノ金ヲ以テ二億弗少シ上ノ通貨ヲ發行スルコトモ出來ルノテアリマスカ政府ノ金證券ニ替ヘテシマヘハ一億ノ金ハ一億ノ通貨ニシカナラヌノテアリマスカラソノ點ニ於テ金輸入ノ結果起ルヘキ通貨ノ增發ヲ抑ヘタトイフコトニハナリマスケレトモ日本ノヤウニ全ク之ヲ缺カシタノテハアリマセヌ。金ノ死藏若クハ不胎化ノ例ヲ採ルナラハ金額ハ餘リ多クアリマセヌケレトモ日本カ大正十年ノ頃ニ於テ執ツタ政策カ

最モ顕著ナルモノデアルノデアリマス。是レハ今問ノ私ノ論點ニハ餘リ關係ノナイコトデアリマスケレトモ一寸序ニ申上クルノデアリマス。

兎ニ角政策ヲ以テ金ノ輸入ニ依ツテ起リ得ヘキ通貨ノ增加ヲ緩和シ若クハ一部分ヲ通貨關係以外ニ置クトイフコトハ出來マスカ政策ノ力ニハ限リカアリマスシ所謂死藏ヤレタ金デモサウイフモノカアルトイフコトハ矢張通貨增加ノ大勢ヲ成スニ過ヒナイ。卽チ究極通貨ノ數量及ヒ通貨ノ價値ニ影響ヲ及ホスコトニナルノデアリマス。

金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ決定スル若シクハ金カ通貨ノ價値ノ決定ニ與ルト云フコトニ張ク反對ヲサレル方面デモ通貨ノ數量トノ關係ニ於テ金カ通貨ノ價値ニ關係ヲ持ツトイフコトハ認メラレルヤウデアリマスサウシマスト私ノ見解ヲ支持スルニハソレタケデモウ十分デアリマシテ別ニ爭ヒモ何モナクナルヘキ筈デアリマス。殊ニ金ハ

通貨ノ價値ニ至大ノ關係カアルトサヘ云ハレルニ至ツテハ事ロ昔ヒ逸キテハナイカト思ハレル位テアリマス。私ハ通貨ノ職能的作用ノ方カ重イノテハナイカト思フノテアリマスカラ金ノ關係ヲ至大ナリトスレハ私ノ見解ヨリモツト先ヘ行ク居ルヤウニ見エルノテアリマス。唯ソレ程ニ金ノ重要ナルコトヲ認メナカラ尚ホ金カ通貨ノ價値ノ決定ニ與カルトイフコトヲ否定サレマスノハ何故カトイフトソノ關係ハ直接テナイ積極的テナイトイフコトニ歸スルヤウテアリマス。直接テナイ積極的テナイトイフノハ如何ナル意味テアルカ。直接ト間接積極ト非積極ノ區別ハ何ヲ標準トスルノテアルカ。多少議論ノ餘地カアルト思ヒマスケレトモ私ノ立場ニ於テハ特ニ之レヲ檢討スルノ必要ヲ感シナイ。之ニ關レテ無用ノ紛議ヲ釀スニハ及ハナイ。金カ通貨ノ價値ヲ決定スルトイフ見解ヲ主張スル人ニ對レマシテハ金ノ働キカ直接テアルカ間接テアルカ積極的テアルカナイカトイフ

コトカ重要ナル論點ニナルデアリマセウ。併シナカラ私ハ金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ決定スルトハ言ハナイ。只金ノ價ニ於ケル事情モ亦通貨ノ價値ノ決定ニ與カルトイフノデアリマスカラ金ノ價ニ於ケル事情ノ變ラヌカ直接カ間接カ積極的カ非積極的カトイフヤウナコトハ私ノ立場ニ對シテハ格別重要デナイノデアリマス。間接デモ非積極的デモ金ノ側ニ於ケル事情カ通貨ノ價値ノ決定ニ關係ノアルトイフコトカ認メラレヽハ私ノ見解ハソレデ成立スルト考ヘルノデアリマス。

通貨關係以外ノ金ノ作用

今マデハ通貨ヲ構成スルモノヽ一部タル金カ通貨ノ價値ニ如何ナル關係ヲ以ツテ居ルカトイフコトヲ論究シタノデアリマシテ是カラ先程二段ニ分ケルト申シマシタソノ後段ノ方ノ通貨關係以外ニ存在

スル金ノ取引カ通貨ノ価値ニ如何ナル影響ヲ及ホスカトイフ考察ニ移リマス

工業用、貯蔵用ノ金ハ通貨ナハナクシテ財貨テアリマス。併シナカラ何ン時ナモ自由ニ通貨ニ変形サセルコトカ出來ルモノテアリマスカラソノ価値ハ単獨ニ決定サレナイテ通貨ト共通ニ決定サレルノテアリマス。此ノ點ニ於テ普通ノ財貨トハ趣ヲ異ニスルノテアリマス。貨幣經濟ノ社會ニ於キマシテハ普通ノ財貨ノ価値ノ變動ハ価格ノ變動ヲ經由シテ行ハレルノテアリマス。少クトモ価格ノ變動ニ依ツテ表示サレルノテアリマス。即チ米ノ価値カ變動シテ他ノ財貨ノ価値ニ變動ノナイトイフ場合ヲ假定シテ見マスト米ノ価格カ一石十五圓カラ二十圓ニ騰貴スルサウシテ二十圓テ買得ル他ノ財貨ノ量ハ十五圓テ買得ル量ヨリモ多イカラソコテ米ノ価値カ增加シタト斯ウイフコトニナリマス。即チ価格ヲ經由シテ価値ノ變動カ現ハレルノ

アアリマス。ソレハ米トイフカ如キ普通ノ財貨ノ場合アアリマス。然ルニ金ハ一匁ニ付キ五圓トイフヤウナ一定比率ヲ以テ自由ニ通貨ト交換サレマスカラ苟モ金本位カ有效ニ施行サレテ居ル限リハ金ノ價値ニ變動カアツテモ金ノ價格ハ變動シナイ。金一匁ノ價格ハイツテモ五圓アル。只通貨五圓ヲ以テ買得ル能ノ財貨ノ量カ增減スルソレカ通貨ノ價値ノ變動テアリ同時ニ金ノ價値ノ變動テアル。之ヲ私ハ金ノ價値ノ變動カ通貨ノ價値ト共通シテ起ル若クハ現ハレルトイフノテアリマス。五圓ヲ以テ買得ル能ノ財貨ノ量カ多クナル時ニハ金一匁ノ價格ハ變ラナイテソノ便能ノ增加カ生シテ居ルノテアリマス。通貨關係以外ニ財貨トシテ存スル金即チ貯藏用ノ地金並ニ銀銅トカ入歯トカ時計ノ鎖トカイフモノニ使ヒマス所ノ工藝用ノ金ハ財貨タル性質ニ基イテ主トシテ需要供給ノ作用ニ依リマシテソノ價値ニ變動カアルヘキ筈テアリマス。此處テ需要供給ト申シマシテモ

私ハ一般価値論ニ於テ無窮保ニ需要供給説ヲ採ルモノナハアリマセヌ。只世間一般ニ物価ノ変動ハ需要供給ヲ説明スルノカ普通アリマスカラ今ハ価値論ニハ深ク立チ入ラナイテ普通ノ財貨ノ価値ハ主トシテ需要供給ノ作用ニ依ツテ変動スルト申シテ置クノアリマス。

兎ニ角普通ノ財貨ニ通用セラルヘキ理由ニ依ツテ財貨タル金ノ価値モ変動スヘキ筈アリマスノニソノ価値ノ変動カ他ノ財貨ノ如ク価格ニ現ハレナイトシマスレハトウシテモソレハ通貨ノ価値ニ混入シナケレハナラヌノアリマス。財貨トシテノ金ノ価値ノ変動カ通貨ノ価値ニ混入スレハソレタケ通貨ノ価値ト通貨ノ価値トノ決定ニ財貨トシテノ金ノ価ニ於ケル事情モ亦参加スルト考ヘルノカ理論的ニ見テ妥当アハナイカト思フノアリマス。

併シサウイフ通規的ノ見方ハ直クニ承認カ出来ナイトイハレマス

ナラハ此處ニマタ通貨ノ數量トノ關係ヲ考慮ニ入レテ財貨トシテノ金ニ對スル需要供給カ通貨ノ數量ニ及ホス影響ヲ檢討シテ見マセウ。サウスレハ問題カ一層判然ト解決サレルタラウト思ヒマス。尤モ通貨ノ價値ヲ決定スル所ノ職能的作用トイフノハ畢竟通貨ト一般財貨トノ交渉ニ依ツテ生スルノテアリマスカラ如何ナル財貨テモ一般的ニ通貨ノ價値ノ決定ニ與カルヘキ事情カアルト斯ウ廣ク言フコトカ出來ルト思ヒマスカ私ハサウイフ廣イ意味テ金ノ側ニ於ケル事情カ通貨ノ價値ノ決定ニ參加スルト言フノテハアリマセヌ。總テノ財貨カ通貨ト交渉ヲ持ツトイフ一般事情ノ外ニ財貨トシテノ金ニ特殊ナル事情カアツテ之レニ對スル需要供給カ通貨ノ價値ニ特殊ノ影響ヲ及ホスカトウカ私ハ之レヲ檢討シテ見タイト思フノテアリマス。

金以外ノ財貨カ賣買セラレマス時ニハ原則トシテ既ニ存在スル所ノ通貨カ買手ト賣手トノ間ニ授受サレ回轉スルタケテアリマシテ通

貨ノ數量ニハ變化カナイノデアリマス。是ハ原則デアリマシテ或ハ新ナル通貨ノ注加ニ依リマシテ始メテソノ實質取引カ可能トナルトイフヤウナ場合モアリマス。併シ左様ナ場合ニハ通貨ノ數量ハ增加スルノデアリマシテ其ノ結果通貨ノ價値ハ低下ニ傾クノデアリマス。卽チ普通ノ財貨ニ對スル需要ヲ充タス爲メニハ通貨ノ數量ニ變化ヲ起サスシテ濟ムカ又ハソレカ通貨增加ノ原因トナッテ通貨ノ價値ヲ低下セシムヘキ傾向ヲ生スルノデアリマス。然ルニ工藝用ノ爲ニ金ニ對シテ需要カ起ル時ニハ兌換券ヲ發行ニ提示シテ金ノ交付ヲ受ケルノカ一番早道デアリマスカラ多クノ場合ニ於テ斯ウイフ徑路ヲ取ル。金ノ兌換カ行ハレヽハ通貨ノ減少カ起ルノデアリマス。卽チ他ノ事情ニ變化カナケレハ通貨ノ價値ヲ騰貴セシムヘキ原因ヲ生スルノデアリマス。是カ普通ノ財貨ノ場合ト反對ノ方向デアリマス。工藝用ノ爲カラ起ル金ノ需要カサウイフ風ニ通貨ト兌換サレマセヌ

テ市場ニ於ケル金塊ノ買入テ需要カ充サレタトシマシテモソノ場合ニハ通貨ノ構成ニ向ケラルヘキ金ノ量カ減少スルノテアリマスカラ先程申シマシタ金ノ獲得ヲ困難ナラシムル方ニ働クノテアリマシテ通貨ノ增加ノ可能性ヲ抑ヘ圓テ通貨ノ價値ノ低下スルコトヲ抑ヘルトイフコトニナリマスノテ是レ亦普通ノ財貨ノ場合トハ方向ヲ異ニスルノテアリマス。

次ニ金以外ノ財貨ノ供給ノ方ヲ考ヘマスト供給カ增加シマス時ニハ他ノ事情ニ變化ノナイ限リハ物價下落即チ通貨ノ價値ノ騰貴ヲ來スヘキ原因ヲナスノテアリマス。然ルニ金ノ供給カ工藝用ノ爲ニ起ル需要ヲ充タシテ尙ホ餘リカアリマス時ハトウスルカトイフト之ヲ發券銀行ニ持ツテ行ツテ兌換券ノ交付ヲ受ケル。ソレカ一番早道テアリマス。ソコテ通貨ノ數量ヲ增加シテ他ノ事情ニ變化ノナイ限リハ通貨ノ價値ヲ低下シテ物價ヲ騰貴セシムル原因トナル。斯ウイフ

風ニ普通ノ財貨ノ場合トハ方向ヲ異ニスルノデアリマス。財貨トシテノ金ニ對スル需要モ供給モ一般財貨ト通貨トノ交渉以外ニ特殊ノ影響ヲ通貨ノ價値ニ及ホスノデアリマス。サウシテ一般財貨ニ對スル需要供給ト通貨ノ數量及ヒ價値トノ關係ハ頗ル複雜デ簡單ニ把握シ難イ。之ニ關スル理論モ紛糾シテ居マスカ金ノ場合ニ於テハ其ノ徑路カ明瞭デアリマス。實際ノ程度ノ大小ハ暫ク指キ明瞭デアル所ノ影響ヲ無視スルノハ理論トシテハ妥當デナカラウト思ヒマス。

只今ハ需要供給ニ依ツテ動イテ居ル金ニ就イテ考ヘテ見タノデアリマスカ尚ホ少シ考察ノ方面ヲ變ヘテ工藝又ハ貯藏ノ爲メニ使ハレテ仕舞ツタ金ニ就イテ考ヘテ見マセウ。工藝ニ用ヒラレタル金ハ普通ノ財貨ノ中ニ這入ツテシマフモノデアル。地金デアレハソレハ直クニ通貨ニモ變リマスカ時計ノ鎖ヤ眼鏡ノフチトナツタモノハ財貨ノ中ニ這入ツタモノデアル。ソレカラ印度ナトニ於ケル如ク貯藏サ

レタ金ハ貯蔵サレテ居ル間ハ經濟活動カラ懸離レタモノテアルカラ
ソレハ通貨ノ決定ニハ與カラナクナルトイフコトカ言ハレマセウ。
ソレハ一應承認サレ得ルコトト思ヒマス。併シナカラ金ノ工藝用及
ヒ貯藏用ノ爲ニ收收サレルトト共ニソレ等ノ用途カラ解放サレルコー
モアルノテアリマス。時計ノ鎖ヲ日本銀行ニ持ツテ來ヲ賣ル人モ餘
リナイテセウケレトモ時々金
マス。即チ工藝用ニ使ハレタ金カ通貨ニ變ルノテアリマス。ソレカ
ラ印度等ニ於ケル金ノ貯藏モ必スシモ常ニ無限ニ金ヲ收收スルモノ
テハアリマセヌ。矢張金ヲ貯藏スル餘力ノアツタ家カ零落スレハ之
レヲ處分シテ生活ノ資ニ供サナケレハナラヌトイフコトニナルノテ
テリマシテ收收サレルト共ニ解放トイフコトモアルノテアリマス。
ソコテ工藝又ハ貯藏ニ用ヒラレタ金ノ量カ不足ノ狀態ニアルカ飽滿
ノ狀態ニアルカトイフコトハ此ノ方面カラ發生スル金ノ需要供給ニ

影響シマシテソレカ通貨ノ數量ヲ經由シテ通貨ノ價値ニ關係スルヤウニナルノデアリマス。ソレカ無關係タトハ言ハレナイデアラウト思ヒマス。ソノ影響ハ比較的輕微デアルカモ知レマセヌカソレハ程度ノ問題ニ過キナイノデアリマシテ矢張リ理論上ハ無視スヘカラサルモノデアリマス。或ハ其ノ影響ハ間接タトイフノニ最モ適當ノモノカモ知レマセヌ。併シナカラ間接テモ直接テモ積極的テモ非積極的テモ苟モ關係カアルトスレハソレテ私ノ見解ヲ成立サセルニ差支ナイトイフコトハ先キニ申シマシタ通貨ヲ構成スル金ニ就イテモ只今申ス所ノ通貨關係以外ノ金ニ就イテモ同樣デアリマス。

論旨ノ再述

私ノ見解ハ昨日最初ニ便宜上結論ノヤウナコトヲ申シテ置キマシタカ只今マデ種々ノ論究ヲ試ミタ後ニ於キマシテ少シ形ヲ變ヘテ稍

々詳シク之レヲ擧ケテ見マスト、

經濟活動トノ交涉ニ於ケル通貨ノ職能的作用、

通貨ノ構成ニ必要ナル金ヲ獲得スルノ難易、

通貨關係以外ニ於ケル財貨トシテノ金ノ需要供給、

此ノ三ツヲ以テ私ハ金本位劃ノ下ニ於テ金ノ價値及ヒ通貨ノ價値ヲ決定スル原因ト觀ルノデアリマス。通貨ノ職能的作用ノ解說ハ私ノ昨日カラ今日マデ申シマシタ所デハマタ盡シテ居リマセヌ。又私ハ今盡シ得ナイカモ知レマセヌ。ソノ不十分ナルコトハ自覺致シマスケレトモ通貨ノ價値ト金ノ價値トノ關係タケニ限ツテ見マスト兩者ニ共通ナル價値ヲ決定スル原因カ兩者ノ何レノ側ニモ存在スルトイフコトハ結論トシテ言ヒ得ルト思ヒマス。各々ノ側ニ於ケル原因ノ強度ヲ正確ニ測定スルコトハ不可能デアリマス。一番前ニ申シマシタヤウニトウモ實證的ニ取扱フコトノ出來ナイ問題デアリマスカラ

ソノ強度ヲ正確ニ測定スルコトハ不可能テアリマス。唯私ノ感想ニ於テハ通貨ノ職能的作用ニ最モ重キヲ置クヘキテアルト思フノテアリマス。随テ金ノ價値カ通貨ノ價値ヲ專ラ決定スルトイフコトヲ私ハ首肯シマセヌ。併シナカラ通貨ノ價値カ金ノ價値ヲ決定スルトカ金ノ價値ハ通貨ノ價値ヲ享受スルトカイフコトヲ無留保ニ承認スルコトモ亦出來マセヌ。若シソノ意味カ金ノ側ニモ決定ニ與カル所ノ原因カアルコトヲ否定スルモノテアリマスナラハソレハ妥當テナイト考ヘルノテアリマス。工藝用及ヒ貯藏用ノ爲メニ金ノ側カラ來ル影響ハ實際輕微テアルカモ知レマセヌカ通貨ノ構成ニ必要ナル金ノ總量ニ比スレハ少ナイケレトモ中々重要ナルモノテ其ノ必要ナル金ヲ獲得スルノ難易ハ隨分大ナル影響ヲ通貨ノ價値ニ及ホスト看ナケレハナラヌト思ハレマス。此ノ如ク通貨ノ職能的作用ノ側ニ屬スル所ノ原因ト金ノ側ニ屬スル所ノ原因カ互

ニ影響シ或ハ相殺シ或ハ重疊シテ共ニ混和シテ歸一ノ綜合的結果ヲ生スルノデアリマスカラ一括シテ同時ニ一樣ニ定マルトイツテモ宜シイデアラウト思フノデアリマス。一括トイヒ一樣トイフノハ昨日モ說明シマシタ通リ種々ノ原因ノ働キカ同等タトイフノデハアリマセヌ。唯双方ニ原因ノアルコトヲ認メルノデアリマス。

ソレカラ又決定トイフノヲ働キ掛ケノ言葉ト看テソノ働キ掛ケノ作用ハ通貨ノ側ニノミ存スルモノトシ隨テ働キ掛ケテアル所ノ積極的決定ハ通貨カスルノデアル金ハ通貨ノ價値ニ關係カアルケレトモソレハ積極的デナイカラ別ニ考慮スヘキデアルト斯ウ言ハレマスナラハ私ノ立場ニ於テハソレデモ結構デアリマス。金ノ側ニ於ケル事情カ通貨ノ價値ニ無關係タト云ハレマスナラハ實質ノ問題トシテ私ハ之レニ同意スル譯ニ參リマセヌカ關係ハアルケレトモ積極的デナイカラ決定ノ要素トシナイデ別ニ考慮スルト云フノナラハ單ニ用語

及ヒ構想ノ問題テアリマスカラ私ハ強ヒテ之レト爭ヒマセヌ。殊ニ通貨ノ價値カ金ノ價値ヲ決定スルトイフ見解ハ通貨ノ機能的作用ニ重キヲ置ク點ニ於テ通貨政策上有益ナル參考トナルノテアリマス。併シナカラ其ノ思想ノ構造ハ通貨ノ價値ニ關係カアル所ノ他ノ方面即チ金ノ側ニ屬スル所ノ事情ヲ捨象シテ居ルノテアリマス。或ル方面ヲ抜キ取ツテソレタケヲ考ヘルト看レハ抽象テアリマスカ或ル方面ヲ捨テ、ソレヲ考慮外ニ置クト看レハ捨象トイツテモ捨象トイツテモトチラテモ宜シウコサイマスカ兎ニ角或ル方面ヲ一應考慮外ニ置イテ居ルノテアリマス。或ル方面ヲ捨象シ或ル方面ヲ抜キ取ツテソレニ適合スルヤウニ用語ノ意義ヲ限定スレハ截然タル構想カ立派ニ出來上ルヲアリマセウ。構想トシテハ纏マツテ居ルコトヲ私ハ認メマス。併シナカラ捨象ハ思想ノ上ノ働テキテ實際ニ於テ捨象トイフ事ハ出來マセヌ。金ノ側ニ於ケル事情カ通貨ノ

価値ニ關係ヲ持ツナラハソレカ間接テアラウトモ通貨政策ノ實行ニ當リテ之レヲ考慮ノ外ニ置クコトハ許サレマセヌ。ソレテ私ハ之ヲ取入レテ假令思想ノ構造ハ立派ニ纏マリマセヌテモ實際ノ通貨政策ニ關係ノアル總テノ點ヲ漏ラサナイヤウニ出來ルタケ論理的ニ檢討シテ見タイ新ウイフノカ私ノ立場テアリマス。左樣ノ立場カラ出發シテ今回述ヘタヤウナ論旨ニ到着シタノテアリマス。決定トイフ言葉ハ働キ掛ケテアルカラトイフノテ紛議カ起ルノヲ避ケル爲ニ決定サレルト言ツタナラハ或ハ無事テアラウカト思フノテアリマス。併シナカラ何レニシテモ私ノ論旨トシテ要約シタヤウナ標語的ノ言ヒ表ハシ方ハトウセ遺漏ナク趣旨ヲ盡シ難イモノテアリマスカラ一括シテ同時ニ一樣ニ定マルトイフノヲ必スシモ表現ノ方式トシテ固執シヤウトスルノテハアリマセヌ。私ノ眞意ノ在ル所ハ論述ノ全體ニ依ツテ會得セラレンコトヲ

異フノテアリマス。私ノ要約シマシタ書業カ拙ケレハ拙イトシテ御業アニナル方カ宜シイ。論旨ニ就イテハ充分御批評ヲ願ヒタイノテアリマスケレトモ論述ノ全體ヲ願ミスシテ要約シタ書業ニ拘泥シテ論旨ヲ想像サレルノハ聊カ迷惑テアリマス。全體ノ脈通ニ照ラシテ書業ノ意義ヲ酌量セラレ言葉カ不適當ナラハ其ノ方ヲ御業テニナルコトヲ願フノテアリマス。

私ノ願望

一見相容レサルカ如キ見解モ各々ノ側ニ於テ使フ所ノ用語ト各々ノ個ニ於ケル着眼點トニ就テ互ニ諒解ヲ爲シ合ヒマスナラハ案外距離ノ大ナラサルコトカ屢々アリマス。私トシテハ或ル學說ヲ支持スル所ノ見地カラ他テ採擇セラレル所ノ用語及ヒ構想ニ對シテハ十分ニ敬意ヲ表シテ諒解ノ出來ル限リサウイフ見方モ出

來ルサウイフ用語ノ使ヒ方モアルトイフコトヲ承認スルニ躊躇致シマセヌ。又私ノ見解ノ甚タ未熟デアルコトモ自覚シテ居リマス。思想ノ包容ヲ廣クシ實際ニ適合スルヤウニシマスレハトウモ薄想カ立派ニ巧ク纏ラナイ。強ヒテ思想ノ薄遊ノ形ヲ整ヘヤウトスレハ實行ニ當ツテ別ニ考慮ヲ要スルトイフヤウナ留保付キニナツテシマフ。是カ私ノ惱ミテアリマス。ソレテ昨日カラ今日ニ渉ツテ述ヘマシタヤウナ複雜ナコタコタシタ考慮ヲ費サナイテ簡單明瞭ニ直クニ實際政策ノ指針トナシ得ルヤウナ的確ニシテ包容ノ廣イ思想ノ薄遊ヲ學界カラ示シテ戴クコトヲ私ハ切ニ願望スルノテアリマス。敢ハ私カ寡聞ニシテ斷ニ左樣ナ薄想カ在ルノヲ知ラスニ居ルノカモ知レマセヌ。何レノ方面カラテモ十分ニ教ヲ受ケタイト思ヒマスカ用語ニ拘泥シテ着眼ノ精神ヲ誤解シナイ所ノ論爭ニ入ルコトヲ私ハ好ミマセヌ。又同シ論點ヲ繰ツテ屢々論議ヲ重ネルノモ面白クナイト思ツテ

誤解ヲ避ケル爲ニ無用ニ近イ說明ト反復トヲ交ヘタコトハ御容赦ヲ願ヒマス。兎ニ角私自ラカ讀ミトスル點ニ就イテ皆樣ノ御諒解ヲ得御注意ヲ惹クコトカ出來マシタナラハ掬ニ堪外ノ仕合セテアリマス。

（四日第二講）　（了）

89-HVS

89-HVS